

東京放射線

2014年12月号

Vol.61 No.723



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

巻頭
言
言
と
事

篠原健一

新春のつどい

会
告

第40回日暮里塾ワンコインセミナー

第41回日暮里塾ワンコインセミナー

お
知
ら
せ

第4地区研修会

地球環境保全活動

報
告

東京都功労者表彰

平成25年度学術奨励賞

連
載

第10回臨床検査「免疫血清検査の概要」

平成26・27年度公益社団法人東京都診療放射線技師会

役員名簿

平成26年東京放射線総目次

登録事項変更届

研修会等申込書

平成26年度 スローガン

一、チーム医療の推進
二、地球環境と調和した医療技術の向上
三、生涯教育・専門教育の推進

2014年 DEC CONTENTS

目次

診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 言と事	5
会長 篠原健一	5
会告1 新春のつどい	6
会告2 第40回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告3 第41回日暮里塾ワンコインセミナー	8
会告4 第13回ウインターセミナー	9
会告5 第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー	10
会告6 平成26年度第4回静脈注射（針刺しは除く）講習会	11
会告7 第7回MRI集中講習会	12
会告8 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」	13
お知らせ1 第4地区研修会	14
お知らせ2 地球環境保全活動 クリーン日暮里21（日暮里駅前清掃活動）	15
お知らせ3 第12地区研修会	16
お知らせ4 第1地区研修会	17
お知らせ5 第15地区研修会	18
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	19
東京都功労者表彰	20
渉外委員会	20
平成25年度学術奨励賞	22
連載 誌上講座 第10回臨床検査「免疫血清検査の概要」	26
早川瑞穂	26
研修会報告 第16地区研修会（TART・SART地区合同勉強会）座長集約	30
土田拓治	30
支部・地区・特別委員会のカオ	31
こえ	
・第36回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	38
加藤仁規	38
・第37回日暮里塾ワンコインセミナー印象記	39
圓城寺純至	39
バイプライン	
・平成26年度第2回乳がん検診従事者講演会	40
・平成26年度マンモグラフィー研修会（読影入門編）	42
・平成26年度マンモグラフィー研修会（ポジショニング入門）	44
・第37回消化器造影技術研修会	46
平成26年度第7回理事会報告	47
平成26・27年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員名簿	52
平成26年9月期会員動向	55
平成26年東京放射線総目次	57
登録事項変更届	62
研修会等申込書	63

Column & Information

・イエローケーキ	37
・求人情報	55
・学術講演会・研修会等の開催予定	56

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

巻頭言



言と事

会長 篠原健一

来年は「エックス線発見」から120周年を迎える。発見者のレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）にちなんで、エックス線自体あるいはその検査や写真（画像）のことを“レントゲン”と呼ぶ風潮は根強い。私はこのことは別に目くじらを立てる必要もなく、むしろ博士の偉業によるもので当然と考える。職業人は公式には“エックス線”を使うべきであるが“レントゲン”が患者さんにとってわかりやすく理解できる言葉であるなら構わないと思う。ただし、職種名称となると話は全く別である。

今年10月「盗撮」で“レントゲン技師”が逮捕されたとの報道があった。勤務先の病院で看護師のスカート内を盗撮し、迷惑防止条例違反容疑で現行犯逮捕とあった。犯行内容自体については何をか言わんやであるが、記事配信の通信社から報道各社までがこぞって“レントゲン技師”と表記しているのにはさすがに辟易した。われわれにも職名認知の努力が足りないのかもしれないが、公共のメディアに携わる方々の見識としてこれはいかがなものであろうかと思う。これが医師や歯科医師だったら、“医者”や“歯医者”とは書かないだろう。

職場内や医療界でも“レントゲン技師”はしばしば使われることがある。ある程度の親しみを込めて使う場合もなくはないが、立場的に低く見ているときや、侮蔑的な感覚で使う経営層や他職が少なからず存在する。

チーム医療は、情報と意見を多職種で交換しながら意思決定を行っていくことが不可欠である。他職を理解し正しい職名で覚えることは基本の基であるが、数年前にある団体の「診療の質向上～チーム医療の推進…」という目的で開かれた会議に出席した際、座長の某大病院院長殿は頻繁に“レントゲン技師”（一応さん付け）と発言していた。口頭とメールで何回かやんわりと注意を促したが、私が参加している間は改まらなかった。同氏は“看護婦さん”との呼称も繰り返しており、なかなかの根深さを感じたものである。

私たちは業務範囲拡大に伴い、国民の安心・安全な医療提供のために課せられた使命は大きなものであることを自覚し、職能の変革をさらに進展させなければならない。そして一職能のことだけではなく、医療界全体としてチーム医療の基本を自覚し推進していかなければならない時である。しかし一方で前述のように旧態依然の感覚や認識がはびこっているように感じることもある。

しかし、他者を責めてばかりではいけない。自らが正しく呼称されるような努力も必要である。われわれの職名にはなぜ“診療”が付いているか真剣に考えなければならないし、職能の成り立ちや法整備や今回のような業務範囲の拡大の歴史も認識しなければならない。そして、この流れを次世代からさらに未来へと受け継いでもらわなければならない。

1895年（明治28年）：エックス線発見、1947年（昭和22年）：日本放射線技師会創立、1950年（昭和25年）：東京都放射線技師会創立、1951年（昭和26年）：診療エックス線技師法制定、1978年（昭和43年）：技師法に診療放射線技師の区分新設、1984年（昭和59年）：技師法の診療エックス線技師の区分廃止、1993年（平成5年）：MRIなど業務拡大・守秘義務条文化…etc

たとえば、2009年（平成21年）には試験名称が「診療放射線技師“国家”試験」となったが、当初から“国家試験”であったにもかかわらず長らく「診療放射線技師試験」であった。実質同じならいいではないかなどと言うなかれ、我が日本は古来“言霊（ことだま）”の国、漢字が入る以前から言（こと）と事（こと）は同義であった。名前があって正しく認識されて初めてそのものが実体となるのである。

会 告 1

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。

新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼をいただいております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成27年1月15日（木）

受付 18時00分～

開宴 18時30分～20時00分

開催場所：「ホテルラングウッド」飛翔の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

JR日暮里駅南口下車 徒歩1分

次 第

- 1) 開会のことば
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 乾杯
- 5) 懇親（名刺交換）
- 6) 閉会の言葉



会 費：6,000円

新卒かつ新入会員の方は無料です。奮ってご参加ください。

申込方法：会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第40回 日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「画像を見る目を養う～着眼点～」

～麻痺 MRI偏～

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一 氏

麻痺を主訴にMRI検査をする場合、脳梗塞を視野に入れて検査を行います。
また麻痺している部位は、脳内の支配領域と密接な関係があります。
経験を積んだ技師の場合は、麻痺部位から想定される頭蓋内の領域を推定し、撮影・検査を行う習慣があります。軽微な所見も主訴から判断して、凝視することで見えてくる場合もあります。
今回は主訴「麻痺」から考えられる、MRI画像の特徴や着眼点を学習し臨床に強い技師を目標に掲げ企画をしました。
多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成26年12月2日(火) 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円(当日徴収)、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第41回 日暮里塾ワンコインセミナー 「学術教育が選んだ発表演題」 ～入会促進セミナー～

今回のワンコインセミナーは、恒例となりました学術教育が選んだ発表演題です。平成26年度に本会会員から学会に発表された、演題の中から興味深いものを厳選し再度発表していただきます。

学会に参加できなかった方や参加していたが聞けなかったという方、また再度聞きたい方など、多くの方の参加お待ちしております。

さらに毎年この演題群の中から学術奨励賞、新人賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力をお願いいたします。

今回は入会促進セミナーということで受講料は無料となっております。

—発表演題—

- ① DSA非搭載心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討
河北総合病院 渡邊 真弓
- ② 頭部領域における3D T1WIシーケンスに関する基礎検討
(マイクロTEシーケンスの磁化率アーチファクトについて)
日本大学医学部附属板橋病院 磯川 浩治
- ③ 当院の接遇への取り組みについて
ライフ・エクステンション附属永寿総合病院 松永 麻美
- ④ 胸部X線ポータブル撮影におけるクライテリアの構築
公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院 比企 修一
- ⑤ 滅菌済X線プロテクショングローブの有用性
国立がん研究センター中央病院 北川まゆみ
- ⑥ 全脊柱撮影における女性の生殖腺防護の検討
昭和大学藤が丘病院 林 映里
- ⑦ 散乱補正が線条体解析ソフトの解析値に与える影響
順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 木村 聡
- ⑧ ブラキセラピーにおけるシード治療術後のCT撮影条件の検討
日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志

記

日 時：平成26年12月9日(火) 18時30分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問 い 合 せ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail: gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第13回ウインターセミナー

テーマ「被ばく低減施設取得と新しい線量指標（EI値）」

第13回ウインターセミナーを開催致します。前半は被ばく低減施設取得に関するお話で、後半はEI値についてお話をいただく予定です。

多くの方の参加をお待ちしております。

—プログラム—

- 1部 15:00～15:20 被ばく低減施設認定の道
講師：聖マリアンナ医科大学 佐藤 寛之 氏
- 2部 15:20～15:50 被ばく低減施設取得施設から声
東京慈恵会医科大学附属第三病院 大下 崇 氏
上尾中央総合病院 佐々木 健 氏
- 3部 16:00～16:15 耳より情報
放射線防護用手袋（RADIATION PROTECTION GLOVES）の紹介
フレア株式会社 柴田 吉昭 氏
- 4部 16:15～17:00 追加被ばく線量 1 mSvは安全・安心の基準なのか？
講師：日本放射線公衆安全学会 会長 諸澄 邦彦 氏
- 5部 17:10～18:10 EI値入門（新しい線量指標のすすめ）
講師：北里大学メディカルセンター 柳田 智 氏

記

日 時：平成27年1月17日（土）15時00分～17時45分

場 所：東京医科大学 研究教育棟4階第1講堂 新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：JR新宿駅西口下車徒歩 15分

都営大江戸線 都庁駅前 7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 1分

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

定 員：100名（定員になり次第締め切ることもあります。）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第42,43回 日暮里塾ワンコインセミナー（連続開催） テーマ「乳腺装置の管理」

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは乳房装置の管理を取り上げます。

好評であった第51回きめこまかな生涯教育の内容を、今回再企画として開催致します。乳房撮影装置は日々点検に加え、高い精度管理が必要とされています。今回は日常点検、精度管理を中心に実践的な講義をしていただく予定です。多くの方の参加をお待ちしております。

第42回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「乳腺装置の基礎と日常点検」

14:30—15:20 「マンモグラフィの基礎物理 装置の構成、特性X線、スペクトル」

公益財団法人東京都医療公社東京都がん検診センター 高嶋 優子 氏

15:20—16:10 「品質管理—受入試験、日常管理」

公益財団法人東京都医療公社東京都がん検診センター 萩原 弘之 氏

第43回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「乳腺装置の精度管理」

16:20—17:10 「装置評価—胸壁端の評価、AECの評価、焦点評価」

さいたま赤十字病院

岡田 智子 氏

17:10—18:00 「線量・線質（平均乳腺線量算出まで）」

東京慈恵会医科大学附属柏病院

飯嶋 恵 氏

記

日 時：平成27年1月24日（土）14時30分～18時15分（14時00分受付）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：第42回 会員500円、非会員3,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

第43回 会員500円、非会員3,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与（両方参加で3.0カウント付与）

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成26年度第4回静脈注射（針刺しは除く）講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律案（医療・介護制度改正の一括法案）が平成26年6月18日に成立し、25日に公布されました。この一括法案では、医療従事者の業務範囲及び業務の実施体制の見直しとして「診療放射線技師法」が改正されました。これにより診療放射線技師が実施する検査に伴い必要となる造影剤の血管内投与の行為について、診療の補助として医師の指示を受けて行うものとし、業務範囲に追加されました。詳細は、今後通知等で周知されますが、既に診療放射線技師の資格を取得している者について、医療現場において検査関連行為を実施する際には、職能団体等が実施する教育・研修を受けるよう促すことで教育内容を担保する必要があります。よって下記の要領にて講習会を開催する次第であります。

記

日 時：平成27年1月25日（日）9時55分～（受付開始9時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円

（前号の同会告に関し、非会員の受講料に誤記がありました。お詫び申し上げます。）

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください。

注）東放技事務局へのFAXおよび東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：お申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間（5時間）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが一つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

締 め 切 り：平成27年1月11日（定員50名になり次第締め切り）

以上

プログラム

限	時 間	科 目	講 師
	9:30～	受付	
	9:55～ 10:00	開会のあいさつ、注意事項の説明	
1	10:00～10:45	静脈注射に関する診療放射線技師の法的責任 （絶対的医行為、相対的医行為）	診療放射線技師
2	10:45～11:30	薬剤（造影剤）に関する知識 （造影剤の基礎知識）	薬剤師
3	11:30～12:30	静脈注射と感染管理 （静脈注射の清潔操作、血管留置カテ（BSI）感染防止、 針刺し事故対策）	認定看護師
	12:30～13:30	休憩（昼食）	
4	13:30～14:30	合併症への対応 （アナフィラキシーショック、静脈炎、血管外漏出、 RSD、抜針時の注意）	医師
	14:30～14:40	実習の説明	看護師
5	14:50～16:20	抜針の実習・確認試験 （シミュレーターを用いた演習（実技）、確認試験）	看護師 診療放射線技師
	16:20～16:35	修了証授与・閉会のあいさつ	

第7回MRI集中講習会

第7回MRI集中講習会を開催いたします。

恒例となりました講習会ですが、今回は各講義の分野以外の問題について解説を予定致しました。

また講義には、本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します。（参加者には無料配布）多くの方の参加をお待ちしております。

プログラム

14:00～14:50	原理（基礎）および安全管理	
	講 師：杏林大学医学部附属病院	宮崎 功 氏
14:50～15:40	パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）	
	講 師：虎の門病院	高橋順士 氏
15:50～16:40	アーチファクト	
	講 師：公立福生病院	野中孝志 氏
16:40～17:30	脂肪抑制	
	講 師：東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久 氏
17:40～18:30	専門試験問題解説（過去問を中心に）	
	解説者：東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久 氏

記

日 時：平成27年2月7日（土）13:30～18:30

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

定 員：50名（定員になり次第締め切ることがあります）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問 い 合 せ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成26年度診療放射線技師基礎技術講習 「放射線治療」開催のお知らせ

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」を開催いたします。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に臨床技能検定を実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年2月1日(日) 8時55分～(受付開始8時30分～)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円(ただし検定試験料1,000円を含む)

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください

JART情報システムを利用しない場合は、日放技会誌綴込みのFAX用紙に必要事項を記載のうえ送信ください 注) 東放技事務局および東放技のHPからの申込はできません

受講料振込等：お申し込み後、日放技より振込み先等の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間(6時間)に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

締 め 切 り：平成27年1月18日(日)

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名(所属)
	8:55～	開講式・オリエンテーション	
1	9:00～ 9:45	放射線治療概論	遠藤 裕二 (日本大学医学部付属板橋病院)
2	9:45～10:30	外部照射－照射技能 1	高木 正人 (杏林大学病院)
3	10:40～11:25	外部照射－照射技能 2	岩井 譜憲 (昭和大学藤が丘病院)
4	11:25～12:10	外部照射－治療計画	橋本 竹雄 (がん研有明病院)
5	13:00～13:45	外部照射－品質保証・品質管理	伊藤 照生 (東邦大学附属佐倉病院)
6	13:45～14:30	外部照射－放射線計測	佐藤 洋 (日本医療科学大学)
7	14:40～15:25	密封小線源治療	丸山 靖 (杏林大学病院)
8	15:25～16:10	放射線安全管理・リスクマネジメント	筑間 晃比古 (東京医科大学病院)
9	16:20～16:50	臨床技術能力検定	
	16:50～	閉講式	

お知らせ 1

第4地区研修会

テーマ 「いまさら聞けない患者対応とマナー」

講師：東京慈恵会医科大学 法人事務局 主任 栗原 重雄 先生

皆さまは、患者さまへの対応についてどのようにお考えでしょうか？

われわれは医療人でありながら、接遇やマナーや患者さまへの対応等研修を受ける環境になかなか恵まれないのが現状ではないでしょうか？ 医療の現場は、患者さまとのコミュニケーションによって信頼関係が成り立っていると言っても過言ではありません。

この研修会は、日頃の接遇や患者対応、コミュニケーションを改めて考え、明日からすぐに使える実践的な研修会です。より安心で安全な医療を提供するために、役立てていただきたいと考えております。会員、非会員、ベテラン・新人技師に関わらず、多数のご参加お待ちしております。

記

日 時：平成26年12月4日(木) 19時15分～（受付開始18時45分）

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

参 加 費：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

一般の方 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレス（area04@tart.jp）でお申し込みください。もしくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込みフォームより、主催“4地区”を選択してお申し込みいただくか、会誌の研修会申込用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 竹安直行 E-Mail：area04@tart.jp

以上



地球環境保全活動 クリーン日暮里21(日暮里駅前清掃活動)

第5地区

公益社団法人東京都診療放射線技師会第5地区では、環境をテーマにボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は当技師会事務所のある日暮里駅周辺の清掃活動を実施します。奮って参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成26年12月20日(土)

作 業 時 間：10時00分～12時00分（予定）＊雨天等の場合中止

活動エリア：日暮里駅周辺

集 合 場 所：JR日暮里駅北口改札 東口駅前ロータリー集合

※現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

参 加 費：無料

そ の 他：このイベントは荒川区環境課 荒川区青少年対策日暮里地区委員会が主催しており、町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業などが多数参加されています。

また、軍手・ごみ袋・トンゴは準備します。

申 込 方 法：参加希望の方は下記へお申し込みください。詳細な案内を連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長 鈴木雄一 E-Mail:area05@tart.jp

以上

お知らせ 3

第12地区研修会

テーマ「バーチャルグリッドと最新FPDについて」

～もう、ポータブル撮影にグリッドは必要ない～

講 師：富士フィルムメディカル株式会社 浅野 省二 氏

今回の第12地区研修会のテーマは「バーチャルグリッド」です。富士フィルムメディカル株式会社は平成26年5月、病室や救急などでのX線撮影の際にグリッドを用いなくても画像のコントラストを高めることができる、画像処理ソフトウェア「Virtual Grid」の提供を開始しました。この技術を用いれば、ただでさえ重たいFPD（フラットパネルディテクタ）に、さらに重たいグリッドを装着せずに撮影が行えます。当日は「Virtual Grid」とは、実際にどのような仕組みなのか？ どのような画像が撮影できるのか？ 被ばくはどのくらい軽減できるのか？ 整形領域は撮影できるのか？ など、最新FPDの話題とともに勉強したいと思います。

一般撮影は診療放射線技師の基本分野です。皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年1月17日（土）15時30分～17時00分（受付開始15時00分～）

場 所：公立昭和病院 本館6階 会議室A・B
東京都小平市花小金井8丁目1-1

ア ク セ ス：西武新宿線「花小金井駅」北口下車 徒歩15分

立川バス（寺51昭和病院（前）行、又は寺56大沼団地行）「昭和病院前」下車（花小金井駅から乗車5分）

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第12地区委員会 鈴木 晋 E-Mail：area12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第1地区研修会 テーマ「上部消化管撮影の基礎」

講師：公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター
放射線部部长 佐藤 清二 氏

第1地区では「上部消化管撮影の基礎」をテーマに研修会を開催します。講師に東京都予防医学協会の佐藤清二氏をお迎えして、下記のとおり3回に分け、撮影の基本から読影の実際まで詳しく解説していただきます。

多くの方の参加をお待ちしております。

第1回 「基準撮影法について」	平成26年10月30日（木）	18:30～20:00（終了しました）
第2回 「読影に必要な基礎知識」	平成26年11月27日（木）	18:30～20:00（終了しました）
第3回 「所見用語と症例検討の実際」	平成27年 1月28日（水）	18:30～20:00

記

会 場：東京通信病院 管理棟5階小講堂

ア ク セ ス：総武線飯田橋駅西口から徒歩約5分

東西線飯田橋駅A4出口から徒歩約9分

有楽町線飯田橋駅B2a出口から徒歩約6分

南北線飯田橋駅B2a出口から徒歩約6分

大江戸線飯田橋駅A4出口から徒歩約9分

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申込フォームからお申し込みください。

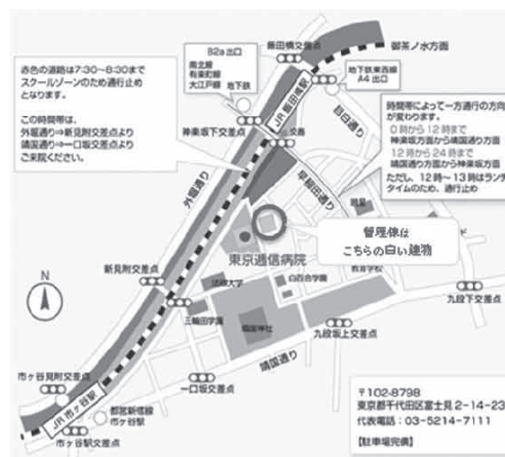
（申込フォームをご利用の際の主催は第1地区を選択してください）

または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第1地区委員長 齊藤謙一 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

お知らせ 5

第15地区研修会

テーマ「業務で出会う医療機器を理解しよう！」

～ベッドサイドモニタと輸液ポンプを中心に～

講 師：テルモ株式会社、日本光電南関東株式会社

病棟撮影に行くと、ベッドサイドモニタのアラームが鳴り「このアラームは何を知らせたいのだろう？」と疑問に思ったことはありませんか。また患者さんに装着する「三つの電極はどの位置につければ良いの？」と迷ったり、検査時に「SPO₂プローブを付けても反応しない！」という経験はありませんか。撮影時に患者さんの輸液ポンプアラームが鳴ってしまったら、どうしていますか？ 今回の第15地区研修会ではそういった日常業務の細かな疑問を解決いたします。

私たちが直接扱う身近な機器ではありませんが、業務を遂行する上で知識として知っておきたい医療機器ですので、装置メーカーの方にレクチャーしていただきます。実機を見て触れることができる時間も設けてありますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年2月10日(火) 19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：帝京大学医学部附属溝口病院 研究棟6階

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子5-1-1

ア ク セ ス：東急田園都市線 高津駅 西口改札より 徒歩1分

JR南部線 武蔵溝ノ口駅より 徒歩7分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にてFAXでお申し込みください。

問 い 合 わ せ：第15地区委員長 原子 満 E-Mail: area15@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川方面・千葉方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ<http://www.tart.jp/>に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

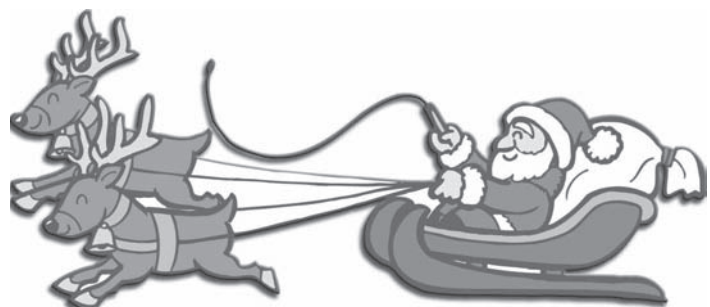
**トップページの
ここをクリック**

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

関東支部	第1地区	千代田区	台東区	第13地区
第2地区	中央区	台東区	台東区	江東区
第3地区	豊田区	江戸川区	江東区	江東区
第4地区	第14地区	千葉方面地区	千葉地域	
城南支部	第5地区	港区	渋谷区	
第6地区	品川区	大田区		
第7地区	世田谷区	目黒区		
第8地区	神奈川方面地区	神奈川地域		
横浜支部	第9地区	新横浜		
第10地区	横浜区	横浜区		
第11地区	第12地区	川崎市		
第13地区	第14地区	横浜方面地区	横浜地域	
第15地区	第16地区	横浜方面地区	横浜地域	
多摩支部	第17地区	西東京市	横浜市	横浜市
第18地区	小平市	横浜市	横浜市	横浜市
第19地区	武蔵村山市	横浜市	横浜市	横浜市
第20地区	上野	第21地区以外の多摩地域		

なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



東京都功労者表彰



元 社会福祉法人恩師財団
東京都済生会中央病院放射線技術科技師長

すず き ひろ かず
鈴木 啓和

昭和28年1月5日生（61歳）

経 歴

昭和49年 4 月	駒澤短期大学放射線学科	入学
昭和52年 3 月	同	卒業
平成10年 9 月	放送大学教養学部	入学
平成15年 9 月	同	卒業

職 歴

昭和52年 4 月	東京都済生会中央病院	入職
平成25年 1 月	同	定年退職

団体歴

平成 5 年 5 月～	社団法人東京都放射線技師会	第 4 地区委員
平成13年 4 月～平成15年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	第 4 地区委員長
平成15年 4 月～現在に至る	社団法人東京都放射線技師会	第 4 地区委員

賞罰歴

平成15年 5 月	社団法人東京都放射線技師会	小野賞
-----------	---------------	-----

東京都功労者表彰をうけて

鈴木啓和

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、平成26年10月1日に東京都庁において「東京都功労者表彰」を受賞致しました。

受賞に際し、篠原健一会長はじめ各理事、表彰委員会から推薦いただいたことに心から感謝申し上げます。また審査書類の作成においては大室正巳理事に大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

私は昭和52年に診療放射線技師になり同年、東京都済生会中央病院に就職して36年近く放射線技術科で勤務して参りました。日々の業務の傍ら平成5年から第4地区の地区委員、そして平成13年より1期地区委員長をお引き受けいたしました。この間渋谷区港区の70数医療施設をまわり、技師会に対しての要望や意見などを聴き、地区活動に反映できたのは大きな収穫でありました。また東日本大震災後、東京ビックサイトでのサーベイボランティア活動に参加させていただいたことは貴重な経験でした。現在は退職致しましたが地区委員として活動させていただいております。

平成25年1月に定年退職した後は、今までの経験を生かしてメディカルコンサルタントとして、また企業内のクリニックで診療放射線技師として仕事をさせていただいております。

最後に、公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念しつつ、功労者表彰のお礼と感謝の言葉に代えさせていただきます。

鈴木啓和様の東京都功労者表彰の祝辞

会長 篠原健一

この度の平成26年度東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された鈴木啓和様が受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。

鈴木様は昭和52年に社会福祉法人恩賜財団東京都済生会中央病院に入職以来、約36年の永きにわたり診療放射線技師としてこの道一筋に奉職されました。この間、CT検査の撮影技術の確立・向上に努めるなど、画像診断装置のデジタル化の促進と技術的対応を図り、後進の育成・教育を意欲的に進められました。また、放射線被ばく低減や医療事故防止にも積極的に取り組み、組織全体の意識を向上させるなど施設の東京都がん診療拠点病院、3次救急指定病院認定にも寄与されました。

本会においては第4地区の地区委員を平成5年から現在まで、また平成13年から2年間は地区委員長として務められ、組織の発展、診療放射線技師の資質・技術の向上に多大なる貢献をされました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災後には、都内避難所においてのサーベイ活動に率先して参加し、職場スタッフにも参加を呼びかけ支援活動を推進されました。

この度の鈴木様の受賞は、診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、どなたもが認める鈴木様の温厚なお人柄をお慕い申しあげますとともに、益々のご健勝をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成25年度 学術奨励賞 受賞報告



乳房温存手術後の放射線治療における皮膚線量について ～ガウン着用は放射線皮膚炎を増悪させるか？～

発表学会：第29回日本診療放射線技師学術大会

○松下淳一¹⁾ 遠藤裕二¹⁾ 坂西和良¹⁾ 大津瑞恵¹⁾ 中村哲哉¹⁾ 池田博典¹⁾ 近江秀一¹⁾
大久保智史¹⁾ 荏澤幸隆¹⁾ 本田賢治¹⁾ 前林俊也²⁾ 斉藤 勉²⁾

日本大学医学部附属板橋病院 中央放射線部¹⁾ 日本大学医学部附属板橋病院 放射線科²⁾

【緒 言】

放射線治療は放射線皮膚炎の増悪を抑えるため一般的に治療部位の肌は露出して行われている。当院でも女性患者の「恥辱心」から来る精神的負担を懸念しつつも、放射線皮膚炎の増悪を抑えることを優先に考え、これまで治療部位の肌は露出して治療を行ってきた。しかし、当院で行った乳房放射線治療中の患者に対する調査において、「肌の露出は治療のために仕方ない、恥ずかしさを我慢している」と答えた患者が約70%に及んだ。この調査結果を受け、女性患者の精神的負担を軽減し、安心して治療を受けてもらえる環境作りが必要と考え、「肌を露出したままの治療」から「肌をガウンで覆う治療」への転換の可能性について検討を行うこととなった。

本研究の目的は乳房温存手術後の放射線治療において、ガウンを着用して治療を行った場合の皮膚線量の増加量を測定し、その増加量は放射線皮膚炎を増悪させるのか否かを明らかにすることである。

【1. 方 法】

1-1 ガウンの選択

ガウンは(1)皮膚線量の増加が可能な限り少ない素材であること、(2)セットアップの精度、効率に影響を及ぼさない構造であること、(3)着心地、耐久性が良い素材であること、(4)容易に入手可能で経済的負担が少ないことなどの観点から、既製品として市販されている不織布素材のOW検査衣(大衛)を選択した。

1-2 ファントムを用いた表面線量の測定 (Fig.1), (Fig.2)

胸腹部水ファントム(医建エンジニアリング)に対し、当院で通常行っている乳房温存手術後の放射線治療計画と同様の方法でビーム設定を行った。用いた治療計画CTはSCT-7000(島津製作所)、治療計画装置はXio(Ver 4.80, CMS)、直線加速器はMEVATRON M2/6740特型(東芝)である。胸腹部水ファントムにEDR2フィルム(Kodak)を密着させ、4MV-X線で57°, 235°方向からField in field法で2Gyの照射を行った。自動現像機は5000-RA(Kodak)、フィルム解析にはフラットベツトスキャナ(GT-X970, EPSON)、DD-system(Ver.10.21, R-TECH)を用いた。測定はガウンで覆った場合と覆わない場合、それぞれ5回行った。統計学的に両群を比較するために、Welchのt検定を用い、有意水準は5%とした。

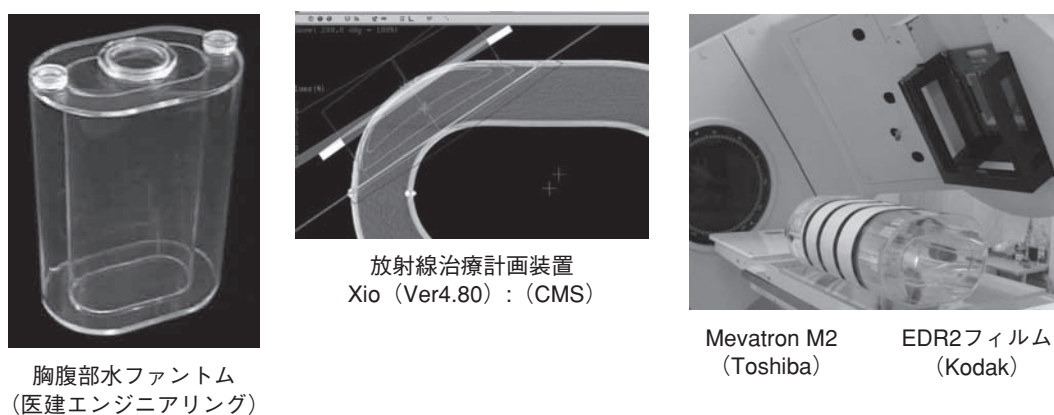


Fig.1 ファントムを用いた表面線量の測定方法

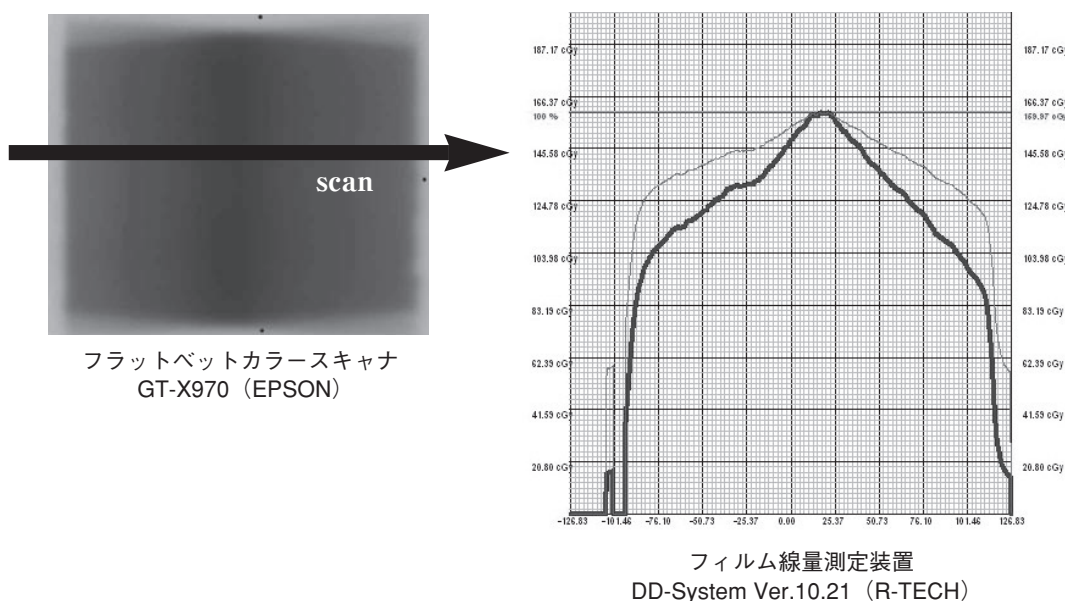


Fig.2 ファントムを用いた表面線量の測定方法

1-3 皮膚反応（放射線皮膚炎）の評価

対象患者は2009年7月から2013年8月の間、当院で乳房温存手術後の放射線治療を行った344人の内、同一の放射線治療専門医2名が診察を行った総線量50Gyの患者185人とした。ガウン着用開始前（2009年7月から2011年7月）に治療を行った患者85人（平均年齢55.6、29歳から86歳）をガウン未着用群。ガウン着用開始後（2011年8月から2013年8月）に照射を行った患者100人（平均年齢57.0歳、27歳から87歳）をガウン着用群とした。皮膚反応は「有害事象共通用語規準Ver3.0日本語訳JCOG/JSCO版」（Table.1）に基づき放射線治療専門医が評価した。統計学的に両群を比較するためにMann-WhitneyのU検定を用い、有意水準は5%とした。

放射線に伴う皮膚炎				
Grade				
1	2	3	4	5
淡い紅斑 または 乾性落屑	中程度～鮮明な 紅斑 (大部分が間擦部に 限局した斑状の 湿性落屑)	間擦部以外の 湿性落屑 (軽度の外傷や擦過傷 により出血)	真皮全層の皮膚 壊死または潰瘍 (病変からの自然出血)	死亡

「有害事象共通用語規準v3.0日本語訳
JCOG/JSCO版」より引用

Table.1 皮膚反応（放射線皮膚炎）の評価基準

【2. 結果】

2-1 ファントムを用いた表面線量の測定

得られた線量プロファイルを示す。線量プロファイルから照射野内の線量を平均し平均表面線量として（Fig.4）に示した。ファントムの平均表面線量はガウン（-）が 130.6 ± 0.5 cGy、ガウン（+）が 132.9 ± 0.3 cGyであった。ガウンで覆うことによりファントム表面線量は1.8%増加した。両群に統計的有意差が認められた。

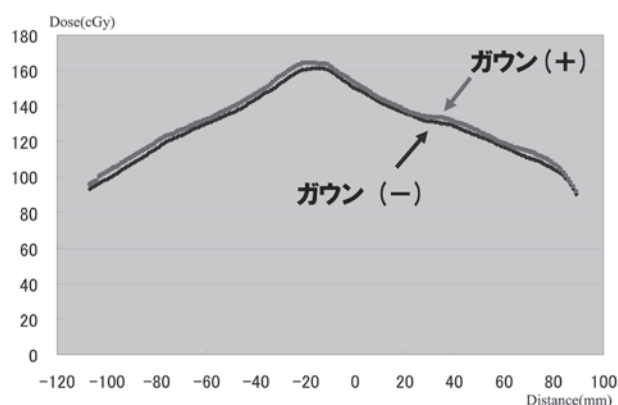


Fig.3 ファントムを用いた表面線量の測定結果

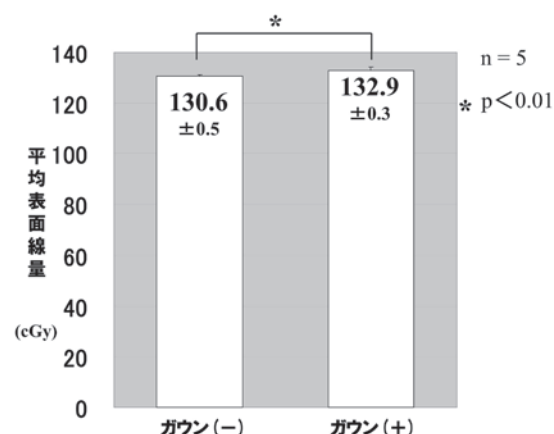


Fig.4 ファントムを用いた平均表面線量の測定結果

2-2 皮膚反応（放射線皮膚炎）の評価

皮膚反応の評価結果を（Table.2）に示す。ガウン未着用群、ガウン着用群共に、Grade1が約90%、Grade2が約10%、Grade3以上の反応は認められなかった。両群に統計的有意差は認められなかった。

【3. 考 察】

3-1 ファントムを用いた表面線量の測定

本研究の評価対象が皮膚表面であることから、測定にはEDR2フィルムを用いた。EDR2フィルムの構造から実効測定点は約 $200\mu\text{m}$ と考えられる。一般的に皮膚障害の線量評価点は皮膚表面から基底細胞層までの厚さ $70\mu\text{m}$ が用いられている。絶対線量評価を行う場合は両者の数値を一致させる必要があるが、本研究では測定値を相対線量評価として用いたので、この差は許容できると考える。したがって、ファントム実験で得られた1.8%の線量増加が実際の患者の皮膚表面で起こっていると推測できる。すなわち総線量 50Gy とした場合、ガウン着用によって患者の皮膚線量は約 1Gy 増加していると考えられる。

3-2 皮膚反応（放射線皮膚炎）の評価

ガウン未着用群とガウン着用群との間に統計的有意差が認められなかったことから、ガウンを着用することによって生ずる 1Gy の皮膚線量増加は放射線皮膚炎を増悪させないといえる。これまでガウンを着用した場合の皮膚線量及び、皮膚反応の評価に関する詳細な報告は少なく、ガウン着用導入に躊躇している施設が多いと考えられる。本研究で得られたデータを参考に多くの施設でガウン着用の取り組みがなされ、データが積み重ねられることが望まれる。

【4. 結 語】

乳房温存手術後の放射線治療において、ガウンを着用した場合の皮膚線量をファントムを用いて測定した。不織布素材のガウンを着用した場合の皮膚線量の増加は約1.8%と推定され、その増加量で放射線皮膚炎の増悪は認められないことが明らかとなった。本研究により女性乳房治療患者さんがガウンを着用することで精神的負担が軽減でき、日々の治療を安心して受けてもらうことができると考える。

免疫血清検査の概要

東京医科大学病院 中央検査部 早川 瑞穂

免疫とは、体内に侵入した「自分とは異なる異物：抗原」（非自己：病原体（細菌やウイルスなど））に対して抵抗する働きを「免疫」と呼び、生体の恒常性維持機構の一つである。この際に産生される物質を「抗体」と呼びます。

免疫血清検査はこの抗原や抗体の有無や量を調べる検査で、免疫反応（抗原と抗体の結びつく反応）を応用して体内の微量な成分である腫瘍マーカー、ホルモン、血漿蛋白、自己抗体および各種感染症などを検出、検査し診断の補助やモニタリングに使用されています。

【代表的な原理や分析機器】

1.沈降反応 免疫比濁法

検出しようとする物質（抗原）に特異的な抗血清を用い、標的物質を特異的に検出する液相中で行う測定系である。検出方法は、抗血清を含む試薬中の抗体が抗原物質と免疫複合体を形成することにより発生する濁度を検出する測定系であり、各種汎用の大型自動分析装置で測定が可能、試薬コストが比較的安価である。検出できる範囲域は $\text{mg/mL} \sim \mu\text{g/mL}$ である。溶血、乳び、ビリルビンなどの色のついた検体により測定値が影響を受ける場合があり、イムノグロブリンの検出などに用いられている。

2.凝集反応 ラテックス凝集法・比濁法

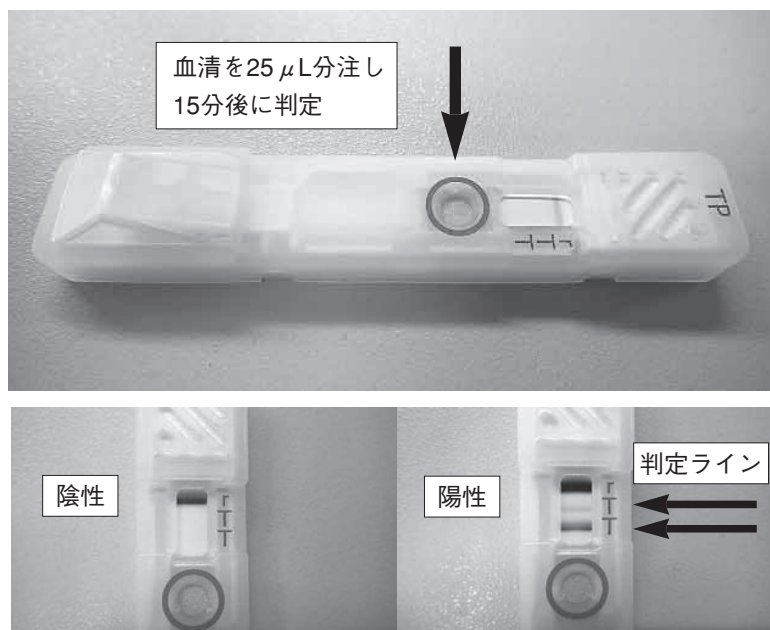
液相中において抗原物質に特異的な抗体をコーティングしたラテックス粒子を用い、抗原物質を検出する測定系である。免疫複合体の形成によりラテックス粒子が凝集する性質を応用し、目視、濁度の増加、粒子量の確認により測定を行う検出方法で各種汎用の大型自動分析装置で定量測定が可能あり、現在多くの項目測定（CRP、リウマチ因子等）に応用されている。検出できる範囲域は $\mu\text{g/mL} \sim \text{ng/mL}$ である。溶血、乳び、ビリルビンなどの色のついた検体により測定値が影響を受ける場合がある。



日立自動分析装置LABOSPECT008（株式会社日立ハイテクノロジーズ）
比色測定法、免疫比濁法、ラテックス凝集法・比濁法など

3. イムノクロマト法

セルロース膜上に被検体が試薬と、反応しながらゆっくりと流れる性質（毛細管現象）を応用した免疫測定法である。検体中の抗原は検体滴下部にあらかじめ準備された金属コロイドや、酵素等で標識された抗体（標識抗体）と免疫複合体を形成しながらセルロース膜状を移動し、セルロース膜状上にあらかじめ用意されたキャプチャー抗体上に免疫複合体がトラップされ呈色し、それを目視により判定する。妊娠診断、各種感染症（インフルエンザ、梅毒、肝炎ウイルス、HIVなど）で応用されている。ただし目視による判定のため、個人による判定誤差が見られる。測定時間を厳守しないと、陰性、陽性の判定が異なることがあるので注意が必要。簡易検査法なので、必ず確認検査を実施する必要がある。



エスプラインTP（富士レボ株式会社）梅毒トレポネマ・パリーダム（TP）抗体の検出

4. 標識抗体法

マイクロビーズ、チューブ等の担体に非標識抗体（キャプチャー抗体）を固相し、標識物質により標識された標識抗体（トレーサー抗体）との間で標的物質をサンドイッチ状に挟み込み免疫複合体を形成させ、標識物質の量より標的物質を定量的に検出する方法である。測定感度が高く特異性が高いBF分離（抗原抗体複合体を形成している結合型(B:Bound)と 抗原抗体複合体を形成していない遊離型(F:Free)とに分離すること）を実施するため、検体の色（白濁、溶血、高ビリルビンなど）の影響を受けない。

標識物質には多種あり、ラジオアイソトープを標識している系をRIA法（RIA）、ペルオキシダーゼなどの酵素を標識している系を酵素免疫測定法（EIA）、ルミノール等の化学発光物質を標識している系を化学発光免疫測定法（CIA）、そしてユーロピウム等の蛍光発光物質を標識している系を蛍光免疫測定法（FIA）、電解エネルギーでRu（ルテニウム）錯体を繰返し発光させる技術を電気化学発光法（ECLIA）と呼ぶ。これは腫瘍マーカー各種やホルモン関連、感染症関連など多くの項目に採用されている。



cobas 8000 <e 602> (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)
電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) を用いている



ARCHITECT®アナライザー i 2000SR (アボット ジャパン株式会社)
化学発光免疫測定法 (CLIA) を用いている



ルミパルスG1200 (富士レビオ株式会社)
化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA) を用いている (図1 参照)

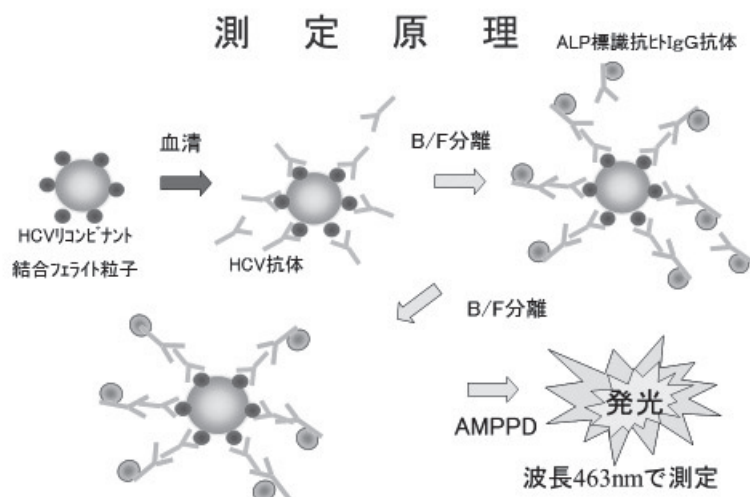


図1 CLEIAの測定原理 (HCV抗体測定)

【免疫血清検査（臨床検査）の現状】

半世紀前は用手法（手作業で反応操作を行い、判定をする工程を含む検査）がほとんどで、検査に数時間～数日要した。結果報告も手書きの紙でしていた時代もあった。その後、セミオートとなり現在は技術の進歩により、検体（血清）をセットして結果が1時間以内で出力され、診察前検査や迅速検査などに対応できる自動分析装置による測定が主流となっており測定範囲もg/mLからpg/mLまでである（図2）。また特別な機器を必要としない簡易検査のイムノクロマト法なども普及している。

多くの施設の中央検査部は臨床検査情報システム（Laboratory Information System; LIS）を構築しており、病院情報システム（Hospital Information System; HIS）と連結しネットワークをすることで、臨床検査は日常診療における有用性に寄与している。

近年チーム医療の精神の普及により、患者への検査内容の説明、糖尿病療養指導や院内感染対策チーム、栄養サポートチームへの参加など、業務内容は広がりを見せている。さらに、体外受精に関わる胚培養の業務にも多くの施設では臨床検査技師が携わっている。

また、国境なき医師団の参加資格としても認められており、日本だけにとどまらず世界で活躍する臨床検査技師も増えつつある。

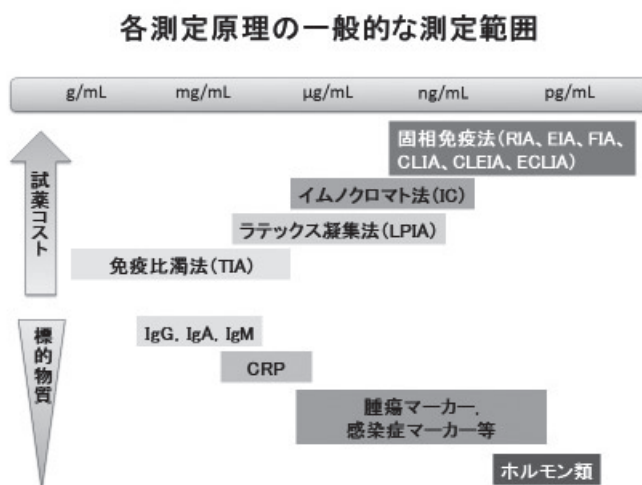


図2 各測定原理の一般的な測定範囲

研修会報告 第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会) 座長集約

埼玉県済生会川口総合病院 土田拓治

「肩関節撮影法～撮影方法のコツを得る～」として春日部市立病院の工藤年男氏より講演いただいた。

最近の放射線画像診断の中心はCT、MRI、USで、そのEvidenceは周知のとおりであり、診療放射線技師の研究テーマも盛んに行われている。それと比較して、一般撮影検査の研究を志す者が減少している印象を受ける。その要因として、診療放射線技師の教育体制や環境によると考える。よって、工藤講師による本講演は一般撮影技術が、他モダリティと同等、それ以上の魅力がある事を再認識するきっかけとなった。

一般撮影検査は、大概の施設において基本的業務である。ただし各施設によって最適な撮影法が存在し、職場の先輩など教育者の質に依存する。次に臨床経験の必要性である。得られた知識を被写体ごとに応用できるからである。そして、画像再現性を得るために、その撮影法が適切かどうかの検証・研究をできる環境の構築であり、職場の同僚や研究会などを通じてDiscussionすることが大切である。特にメルクマールによる撮影技術の構築は再現性を得るためのコツ、つまり撮影が上手くなるコツとして、体表面の基準線・基準面の把握、機能解剖学に基づいたROM

(range of motion) の関節可動域、良肢位（関節が固定された場合、日常生活にもっとも支障が少ない肢位のこと）の理解する事が必要と述べられた。

今回は、肩関節撮影を中心とした内容であった。撮影技術を行う上で参考とする著書の中には活字で理解が困難なものもあるが、良肢位を取り入れ、撮影法の臨床的意義を考えた撮影法について、3D-CTを用いてメルクマールとの関係を教示して頂いた事で、より理解が深まった。

最後に、一般撮影領域における環境変化は、アナログからデジタルに移行され、観察媒体もフィルム-シャウカステンからモニターへ急速に進んでいる。これは画像情報が膨大となった現在への恩恵は計り知れないが、それらを扱う診療放射線技師の撮影線量と画質（特に画像濃度・輝度）への意識がlooseになっているのも事実である。しかし、一般撮影技術にとって特に大切なのは、再現性と必要な診断情報を描出することであり、その原点はポジショニングであると考ええる。諸先輩方が培った撮影技術を論理的に理解し、継承していく事は、再撮影をしない撮影法の研究を盛り上げ、医療被曝低減につながる。

支部・地区・特別委員会の力才

平成26・27年度 役員紹介

●支部・地区委員会●

第1地区委員長

齊藤 謙一 東京通信病院



このたび、第1地区の地区委員長を務めさせていただくことになりました東京通信病院の齊藤です。

平成17年から平成20年の4年間、地区担当理事を務めさせていただいておりましたが、再び地区委員長として戻って参りました。

第1地区は千代田区のみで構成されており、120名ほどの会員が所属しています。これらを担当している地区委員会は私の他、5名の地区委員で活動しており、第1地区の会員の皆さまに情報提供や親睦を深めていただくために、地区研修会などを企画・運営しています。また第1地区は城東支部に所属しておりますが、城東支部研修会、中央区健康福祉まつりなどにも参加しています。

これらの活動をより一層活発にするため、一人でも多くの方に東京都診療放射線技師会への入会をお願いすると共に、ぜひともイベントにも参加していただければと思っています。また、これらの企画を充実したものとするために第1地区の地区委員も募集しております。

皆さまと一緒に地区活動を盛り上げていけるよう努力して参ります。皆さまのご理解とご協力をお願いできればと思っています。またご意見やご要望などございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。よろしくお願い致します。第1地区メールアドレス：area01@tart.jp

理事・城東支部委員長・第2地区委員長

藤田 賢一 永寿総合病院



引き続き第2地区委員長を務めます、永寿総合病院の藤田です。

振り返るとあっという間の2年間であり、結果として何をしてきのか反省ばかりが出てきますが、地区委員・城東支部メンバーのバックアップにより無事終えることができました。

今期はしっかりと各事業をルーチン化し、地区・支部の連携を強固にして、会員の増員、そして多くの方に参加してもらえる企画を開催できるように頑張りたいと思います。

ちなみに第2地区として、今年度は台東区を、来年度は中央区を強化年度・強化地区に分け、技師会活動への働きかけをしていきたいと考えています。地区会員の些細な疑問、質問、貴重な意見をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

理事・城西支部委員長・第3地区委員長 平瀬 繁男 東京医科大学病院



このたび、第3地区委員長に就任いたしました平瀬です。今期で二期目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

二期目となり地区委員同士の信頼関係も構築され活発に行動をしています。全員40代以下の若い委員で地区を引っ張って行こうと思っています。

第3地区は新宿区のみで構成されています。大きな病院がとても多いため、一部の方を除き自施設内でまともな交流が持たない方が多いように見受けられます。技師会を通じて他施設の方と交流ができる場所を提供したいと考えています。

また個人病院や健診センターの方々にも、もっと参加していただけるようにしたいと思っています。そのためには、地区委員が協力して皆さまの期待に沿った研修会を企画し、最先端の情報の発信や基本的な撮影方法など、地区に根差した活動をしていきたいと思っています。技師会で勉強をしながら楽しみましょう。

公益社団法人日本診療放射線技師会・公益社団法人東京都診療放射線技師会は職能団体です。国家試験に合格した診療放射線技師だけが厚生労働省・東京都に認可された、この団体に加入できます。地区活動を活発にしていき、皆さまに認知され身近に感じられる東京都診療放射線技師会にしていきたいと思っています。

どうぞ皆さまの忌憚のない意見をお待ちしています。メールアドレス；area03@tart.jp

理事・第4地区委員長 竹安 直行 日本赤十字社医療センター



このたび、第4地区委員長に就任しました竹安です。

東京都診療放射線技師会の中でも、活発な活動を送っている地区だと自負しております。この地区の委員長として活動できることをとても光榮に思います。地区委員は18名で、さまざまな規模の病院から参加していただいています。

渋谷区・港区の会員の皆さまは、第4地区に属します。私の目指すところは、第4地区に所属する診療放射線技師の方々と紙面ではなく、直接顔を拝見し、お話をしたいと考えております。そのためには、皆さまの興味が湧き、参加したくなるような活動やイベントを開催する努力をしていきます。お忙しいと思いますが、できるだけイベントに参加していただけますようお願いいたします。今年度は、12月に第4地区研修会が済生会中央病院で行われます。そこでお会いできことを楽しみにしております。また地区の紹介を本会ホームページに公開しておりますので、ご覧いただけましたら幸いです。

第4地区を盛り上げるよう頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

第5地区委員長

鈴木 雄一 東京大学医学部附属病院

このたび、第5地区委員長に就任いたしました鈴木雄一と申します。

当地区では、第5地区の会員はもちろん、他の地区の皆さまにも楽しんでいただけるようなさまざまな企画を行っております。

地区研修会では、皆さまの臨床に次の日から使っていただけるような知識や技術を基本とした講演会や体験会を行っております。また不定期ではありますが、地区日より「東放見聞五録」を発行させていただき、情報の発信を行っております。

加えて、地球環境保全活動として事務所があります日暮里の駅前を荒川区の方々、日暮里町会の方々と協力し定期的に清掃活動を行い、仕事とは違った汗を流しております。

私は、まだまだ地区委員としても未熟者です。地区委員の方々をはじめ、会員皆さまのご協力をいただきながら、地区会員、技師会員の皆さまへ有用な情報を全力で提供できるよう励んで参ります。よろしくお願いいたします。

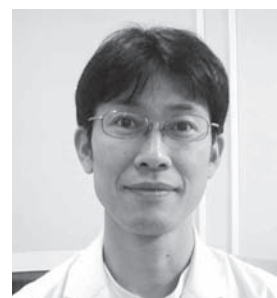


理事・第6地区委員長

岡部 博之 新葛飾病院

今期で3期目の委員長就任になりました新葛飾病院の岡部です。勉強期間も終わり積極的に地区のため、技師会のために活動して行きたいと思っています。当地区の委員は、知識・技術は勿論のこと人柄にも優れた方々ばかりで楽しく活動させていただいております。

ここ数年、地区研修会も継続して行なっています。しかし、地区会員の皆さまからの参加者が少ないように感じています。これも私たちの広報力不足と思っています。今後、地区広報力を高め、皆さまに興味のある企画を計画して行きたいと思います。ぜひ、皆さまから技師会ならびに地区への意見をお聞かせください。一緒に技師会を育てて行きましょう。引き続き、よろしくお願いいたします。



第7地区委員長

富丸 佳一 京葉病院

このたび、第7地区の地区委員長に就任いたしました京葉病院の富丸です。いまだに地区委員長という大役に不安な気持ちでいっぱいですが、技師会の活動を思いっきり楽しんでいき、技師会の魅力や役割を少しでも皆さまに伝える事ができたら良いと思っております。

第7地区は墨田区、江東区、江戸川区の3つの区から成りたっており、会員数約100名で構成されています。地区の活動に興味のある方やご意見などありましたら気楽にarea07@tart.jpまでメールをください。皆さまのご意見お待ちしております。

これからはさまざまな情報を地区の皆さまに発信できるようにしていき、同じ地区の病院の技師同士が仲良く連携していければ良いと考えております。一人でも多くの会員の方と出会えることを楽しみに、これからの技師会活動を頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第8地区委員長

鎌田 治 株式会社東芝 東芝病院

このたび、第8地区委員長を務めることになりました東芝病院の鎌田です。

第8地区は品川区、大田区から構成される地区で会員180余名がいます。

技師会に加入している会員数は大学病院をはじめ、やはり大病院に集中している傾向はありますが、一般の個人病院や診療所などの少人数の施設で活躍している方々もいます。同じ地域、地区で働く他施設の技師の方々とともに情報交流ができるように、地区研修会や施設見学会、情報交換会などの企画をしていきたいと思いますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

また、毎年11月ごろに大田区の平和島で行われるOTAフェスタにも10年以上参加し続け、今では城南支部の協力も得ながら広報活動をしています。

前任の地区委員長と同様に地区委員の方々と協力しながら、引き続き楽しんで参加できる地域に根差した活動を行っていき、技師会を盛り上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



理事・第9地区委員長

飯島 利幸 日本大学医学部附属板橋病院

このたび第9地区委員長として3期目を務めることになりました、日本大学医学部附属板橋病院の飯島と申します。よろしくお願いいたします。

第9地区は都心部近郊の住宅都市である板橋区と“おばあちゃん原宿”として知られる、巣鴨などがある豊島区で構成されています。

現在、地区委員長・地区副委員長・地区委員12名で地区活動をおこなっています。3期目に入り地区委員長として、前期（平成24・25年度）の地区活動の反省を活かし、地区会員のコミュニケーションを図れるような勉強会・情報交換会の企画を引き続き行い、その交流を通して地区会員皆さま方の要望などを伺いながら地区の声として、地区委員ともども充実した第9地区になるよう努力していきたいと思っております。また、地区会員の皆さまにメリットのある地区活動を行なえるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



第10地区委員長

今野 重光 練馬区医師会医療健診センター

このたび、第10地区委員長を務めることになりました練馬区医師会医療健診センターの今野です。

第10地区は練馬区・中野区・杉並区の3地区のエリアから構成され地区委員が少ない地区ですが、わきあいあいと地区委員会を行っております。地区委員を少しでも増員し地区活動の活性化ができればと思います。東京都診療放射線技師会、地区委員の協力を得て頑張っていきます。まだ地区委員長になり立てで、右も左もわかりませんがよろしくお願いいたします。



理事・城南支部委員長・第11地区委員長
千葉 利昭 東邦大学医療センター大橋病院

今期も引き続き第11地区委員長を務めさせていただきます千葉です。どうぞ、よろしくお願いします。

ホームページの地区紹介でも述べていますが、第11地区の会員数は団塊の世代と呼ばれる諸先輩方が定年を迎えはじめた頃と時期を同じにして減少し始め、数年前まで100名近くいた会員が現在は約70名となっています。これは若い世代の入会が思うに任せない状況が続いていることの証であり、今後は地区としていかに入会者を増やしていくかが最重要課題と認識しています。今後は今まで以上に地域の会員との交流を図ることに力を注ぎ、皆さまに必要とされる技師会となれるよう地区委員一丸となって頑張っていきたいと思います。より良い技師会となれるよう皆さまの忌憚のない意見をお聞かせ頂ければ幸いです。メールアドレス：areall@tart.jp



理事・多摩支部委員長・第12地区委員長
鈴木 晋 公立昭和病院

このたび、第12地区委員長ならびに理事・多摩支部委員長を務めることになりました公立昭和病院の鈴木です。第12地区委員長は今期で2期目となります。

多摩支部は第12地区と第13地区から構成され、約400名の会員を有する大きな支部です。支部委員長は第12地区と第13地区から交互に選出され、今期は私が理事・支部委員長を兼務することとなりました。この多摩支部はたいへん広い地域であり、まとまるのが大変な地域でもあります。地道な地区活動・支部活動を通じて職能団体である東京都診療放射線技師会の必要性を広め、会員数を増やし自分たちの職種を維持・発展させるとともに、地域の医療の発展のために努力していきたいと思います。

皆さま、ご協力をよろしくお願い致します。



第13地区委員長
崎浜 秀幸 百草の森ふれあいクリニック

このたび、第13地区の地区委員長になりました崎浜です。

第13地区は、東京都の中で会員数も多く、地域も19市3町1村と東京都の中で一番広い面積の地区になります。そのため、会員どうしの交流も少なく23区で行われる研修会への参加も難しい施設もあります。

そこで、地区研修会を活発に行い会員の皆さまが気軽に参加できる場所・テーマを作って行き、前任の理事や地区委員と共に活気ある第13地区にしていきたいと思っています。それには会員皆さまのご協力も必要になります。今後の活動状況をホームページなどでご確認いただき研修会などへのご参加をよろしくお願い致します。



第14地区委員長

内山 秀彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院

本年度、第14地区の地区委員長をすることになりました、慈恵医大柏病院の内山です。

昨年度まで第14地区（千葉方面地域）は賛助会員でしたが、本年度の定期総会から正会員として認められました。今後は、正会員として一生懸命活動して参りますので、よろしくお願いします。



第15地区委員長

原子 満 帝京大学医学部附属溝口病院

3期6年目となりますが、引き続き第15地区委員長を務めさせて頂くことになりました原子満です。

東京都の会員としては21年目になります。前期までは、賛助会員が大半の神奈川方面地区をどうにか盛り上げることに一生懸命だった思い入れが有ります。このたびの会員構成に関する定款改訂で自身が正会員となった現在の思いは、地区活動の活性化を通して城南支部の連携を高め、公益社団法人東京都診療放射線技師会を盛り上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

また、第15地区会員の窓口として情報提供や学術・広報・厚生などの諸活動、その他要望を受け入れていける心の拠り所となる場を、皆さまと作っていききたいと思っております。

最後に本会ホームページの地区紹介ページにも掲載させていただいておりますが、新しく地区委員を募集していますのでご興味のある方は area15@tart.jp までご連絡をください。



理事・城北支部委員長・第16地区委員長

工藤 年男 春日部市立病院

今年、第16地区委員長になりました、埼玉県春日部市立病院に勤務する工藤と申します。

第16地区は、埼玉方面地区に勤務、もしくは退職後自宅が埼玉県内の東京都診療放射線技師会員で、現在約60名程が登録されている地区です。現在は5名の地区委員のご協力により年1回の研修会と情報交換会などの地区活動を積極的に行っております。

診療放射線技師の業務は時代と共に多用化しています。しかし、国家資格を持つ医療職の中で、われわれ診療放射線技師は業務量や患者数による定数制がありません。いくら業務が忙しくても、定数制が無い状況では技師の働く環境は改善されません。技師の業務範囲拡大や法整備を変えて行くのはわれわれ診療放射線技師会以外にだれも行ってくれません。未来の放射線業務や医療発展は「今」の活動が大事です。ぜひ一緒に活動しませんか。ご連絡お待ちしております。



●特別委員会●

災害対策委員長

渡辺 靖志 東京大学医学部附属病院



このたび、災害対策委員会委員長を務めさせていただくことになりました。

阪神・淡路大震災からまもなく20年、東日本大震災から3年以上が経過しました。次の災害はいつ、どこで起きるのでしょうか。われわれは東京で災害が起きた時に対応できるだけの準備はできているのか？ また他の地域で災害が起きた時にどのような支援ができるのか、その準備は整っているのか？ この問いに対し、東京都診療放射線技師会災害対策委員会として成すべきこととは何なのかを考え、実行していきたいと思います。

当委員会は私を含めて12名の委員で構成されておりますが、より皆さまに貢献できる活動を行うためには、会員皆さまのご要望、ご意見が非常に重要だと考えております。ぜひ声を聞かせていただき、一緒に考えていただきたいと思います。当委員会の活動に関し、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

前年度も開催しましたが「緊急被ばく医療研修会」を今年度も開催する予定です。自身のスキルアップのため、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思います。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ イエローケーキ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

THE EARTH IS SICK

京都で開催されたCOP3が話題に上り地球環境温暖化が叫ばれてから17年が経過しました。この間、人々の暮らしは豊かになり、さまざまな技術革新によって省エネ化がもたらされています。確かに自動車の燃費は100km/3Lを目指していましたが、PHVでは100km/1Lの実燃費まで飛び出しています。電化製品も高効率化が図られ、照明もインバーターからLEDへと移り変わり消費電力の低減が続いています。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次報告書が公表されました。世界の気温上昇を2℃までに抑え、今世紀末に大気濃度を450 ppm CO₂eq近くにするというシナリオでは、温室効果ガス排出量を2050年までに40-70%（2010年比）削減し、2100年までに排出レベルをゼロ近くにする必要があるという危機的なものです。

この温暖化への対策は、原因となる温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」と、既に発生している温暖化の影響に対する自然や社会のあり方を調整する「適応」があります。

節電・電化製品の省エネ化・太陽光パネル設置・温室効果ガスの吸収源強化（緑化）などは「緩和」に分類されます。建築物の高断熱化、ヒートアイランド対策、災害に強い効率的な公共交通網の整備、海面上昇のための防波堤建設、適切な森林の整備・保全、バイオマス資源の有効活用、食の安全・緩和・適応を同時に実現する農林業の手法構築などは「適応」にあたります。

「緩和」を進めて地球温暖化を防ぐには新しい技術や製品開発が必須ですが、その技術・製品を使う人間の行動も重要です。いくらエネルギー消費量の少ない製品を購入しても、エネルギーを無駄にする使い方を繰り返しては温暖化を防ぐことができません。一般家庭で取り組める「緩和」の効果的項目は、自家用車、水道、給湯暖房、冷蔵庫、照明、冷房、調理食洗、洗濯乾燥、断熱・遮熱対策などです。「私だけがやっても…」などという気持ちを捨て、ひとりひとりがムダを無くし日々生活することは、温暖化をおさえその影響に備えることにつながります。

〈からも〉

第36回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して

帝京大学医学部附属溝口病院 加藤仁規

平成26年9月30日に開催された第36回日暮里塾ワンコインセミナー「Grid技術最新事情」(Fiber Grid & Virtual Grid)に参加しました。株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンの植田護氏ならびに富士フィルムメディカル株式会社の浅野省二氏を講師に、Gridに関する新しい技術や画像処理方法について解説していただきました。

Fiber Gridは、鉛を支持する中間物質に軽量のファイバーを用いたGridであり、従来のアルミニウムに比べるとX線の透過性に優れているため、画質の向上、線量の低減が可能です。

Virtual Gridは、Gridを使用せずに高コントラスト画像を実現する画像処理ソフトウェアのことで、コントラストと粒状性を改善する技術によって、実際にGridを使用した時と同等の画像を再現することが可能となっています。現在は、成人の胸部と腹部に使用が限定されていますが、今後の改良によって適用部位も広がる予定とのことです。

この他には、アメリカで肥満体型を考慮して開発されているGridの話題やCTの散乱線を取り除くために3Dプリンターで製造された99%タンゲステンのGridを見させていただきました。

今回のセミナーは、初めて聞くことばかりでしたが、とてもわかりやすく解説していただき、Grid技術に関する最新の知識を得る良い機会となりました。新たなGridが開発されたことで、画質の向上は勿論のこと、軽量化による作業負担の軽減、バーチャル化による作業性の向上も理解することができました。特にポータブル撮影時のVirtual Gridは、Gridの使用による斜入のムラを改善することが可能で、Grid自体を使用する必要がないので、診療放射線技師にとっても非常に有用な技術であると感じました。最後になりますが、このような機会を設けていただきました東京都診療放射線技師会、そして講師の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。

第37回日暮里塾ワンコインセミナー印象記

公立昭和病院 圓城寺純至

平成26年10月3日に開催された第37回日暮里ワンコインセミナーに参加しました。

東京慈恵会医科大学柏病院の庄司友和先生から「画像を見る目を養う、CT検査における頭痛と外傷について」のテーマで講演をしていただきました。

第1部は、頭痛の原因疾患として絶対に見落としではない症例や、CT検査の有用性について学ぶことができました。

第2部は、骨折や脳挫傷など外傷に視点を当てた講演でした。骨折線や気脳症などの、基礎的な内容やアーチファクトの見分け方など、実際の検査を行う上で重要なことを教えていただきました。その他にも、症例に応じた再構成関数、多断面処理、適切なWWやWLなど迅速に鑑別（診断）可能な画像を提供するに

は、どのようにするべきかを学びました。

最後の質疑応答では多く方からの質問があり、ノンヘリカルとヘリカル撮影の使い分け方、動く患者に対しての適切なview数、ローテーションタイムなど、病院によって分かれる箇所についての質問等があり、とても参考になる意見を聞くことができました。

私自身、入職してからまだ半年でCT検査を確実に行うことばかりに集中してしまいましたが、今回の勉強会で得た知識を踏まえ、業務に活かせるよう努めていきたいと思います。

ご講演いただいた、東京慈恵会医科大学付属柏病院の庄司友和先生、またこのような機会を設けていただいた、東京都診療放射線技師会の皆さまに感謝申し上げます。



平成26年度 東京都がん検診センター

第2回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日：平成26年12月4日(木) 17時00分から19時00分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂(下図参照)
- 3 対象：乳がん検診に従事している医師、診療放射線技師 等
- 4 受講定員：先着60名程度
- 5 受講料：3,000円(当日お持ちください)
- 6 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>) からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

『乳房用X線装置の精度管理再入門とデジタルマンモグラフィの最新動向』

群馬県立県民健康科学大学大学院 診療放射線学研究科

根岸 徹 先生

乳房用X線装置の精度管理はアナログからデジタルに変化しても多くの管理項目があります。
その精度管理の再入門として簡単に解説をしたいと思います。

またデジタルマンモグラフィの最新動向として、陽極材質や付加フィルタ材質の変更(モリブデンターゲットからタングステンターゲット、モリブデンフィルタから銀フィルタなど)の理由、そしてデジタルブレストトモシンセシス(DBT)の平均乳腺線量測定法や現在検討されている精度管理方法について解説する予定です。

《お申し込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社東京都がん検診センター 研修担当：三浦

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL：042-327-0201 FAX：042-327-0297

E-mail：togan@tokyo-cdc.jp URL：http://www.tokyo-cdc.jp/

○JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」

徒歩15分

西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

○JR中央線「国分寺駅」

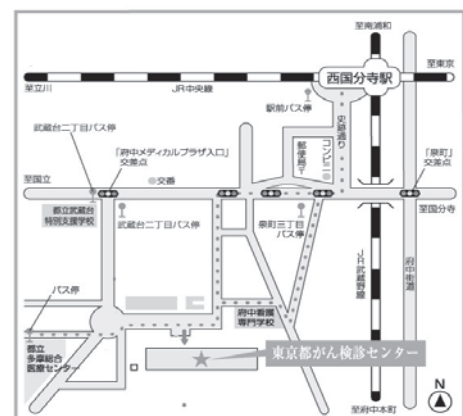
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

○JR中央線「国立駅」

国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センター下車

○京王線「府中駅」

「国立駅」行バス 総合医療センター下車



平成26年度 東京都がん検診センター
第2回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時:平成26年12月4日(木) 17時00分～19時00分

ふりがな 氏 名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職 種	医師・診療放射線技師・臨床検査技師・その他()

- ※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX 番号をご記入ください。
- ※ 定員になり次第、募集を締め切らせていただきますので募集締切を当センターホームページで
ご確認の上、お申し込みください。

平成26年度 東京都がん検診センター

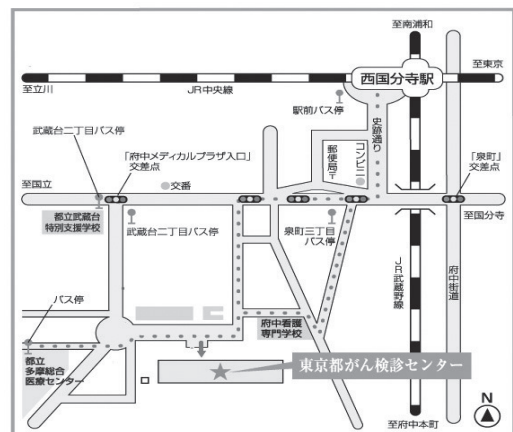
マンモグラフィ研修会（読影入門編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象：診療放射線技師
- 2 実施日時：第3回 平成27年1月15日（木）13：25～17：00
第4回 平成27年1月16日（金）13：25～17：00
※2回とも同じ内容です。
- 3 内 容：
 - 13：25～ オリエンテーション
 - 13：30～14：10 講義『マンモグラフィ読影の基礎』 当センター乳腺腫瘍外科医師
 - 14：10～14：40 講義『マンモグラフィ所見用語の解説』 当センター放射線科技師
 - 14：50～17：00 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習）当センター放射線科技師
- 4 会 場：東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）
- 5 募集定員：各回 先着36名（定員に達した時点で締め切ります）
- 6 受 講 料：3,000円（当日、お持ちください）
- 7 持 ち 物：ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具
- 8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム
（<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>）からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 9 申込み及びお問合せ先：
 - （公財）東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 三浦
 - 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
 - TEL：042-327-0201（代） FAX：042-327-0297 E-mail：togan@tokyo-cdc.jp

<研修会場案内図>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



平成26年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ～読影入門編～
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第3回 平成27年1月15日(木) 13:25～17:00

() 第4回 平成27年1月16日(金) 13:25～17:00

ふりがな
氏 名 _____ 性別 男 ・ 女

勤務先名称 _____

郵便番号 〒 _____

住 所 _____

電話番号 _____

受講連絡先 _____
(FAX)

* FAX にてお申込みいただいた方には、受講の可否を上記連絡先へご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数 _____

平成26年度 東京都がん検診センター

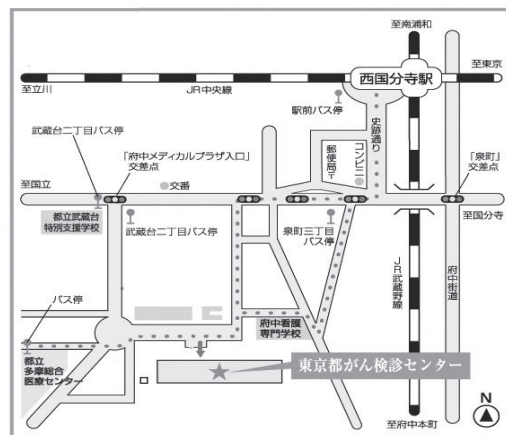
マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、マンモグラフィ撮影技術に関する講義と実際に装置を使用しての実習を行います。

- 1 対 象：診療放射線技師
- 2 実施日時：第5回 平成27年2月19日（木）13：25～17：00
第6回 平成27年2月20日（金）13：25～17：00
※2回とも同じ内容です。
- 3 内 容：講 義 『ポジショニング』
グループ実習（ポジショニング実習・CC,MLO各ケーススタディ）
- 4 会 場：東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）
- 5 募集定員：各回 先着30名程度
- 6 受 講 料：3,000円（当日、お持ちください）
- 7 持 ち 物：筆記用具
- 8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム
（<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>）からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。
FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。
- 9 申込み及びお問合せ先：
（公財）東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 三浦
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL：042-327-0201（代） FAX：042-327-0297 E-mail：togan@tokyo-cdc.jp

<研修会場案内図>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



*この研修会は日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会ではありません。

*お知らせは、当センターホームページからもダウンロードいただけます。 URL <http://www.tokyo-cdc.jp/>

平成26年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ～ポジショニング入門～
受 講 申 請 書

参加希望日に○をしてください。

() 第5回 平成27年2月19日(木) 13:25~17:00

() 第6回 平成27年2月20日(金) 13:25~17:00

ふりがな

氏 名 _____ 性別 男 □ 女 □

施 設 名

住所

電話 番 号 _____

受講可否連絡先 _____
(FAX)

マンモ経験年数

マンモ撮影人数 人／週

FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします

第37回消化管造影技術研修会のご案内

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部では毎年、消化管造影検査に携わる診療放射線技師を対象に、消化管造影技術研修会を開催しています。この研修会は、ガイドライン撮影法の正しい理解と、検査中に異常を判断し、適切な表現を可能とする知識と造影技術および読影法の習得を目的とし、3日間をかけて実施しています。

各講師陣による内容の深い講義および持参画像検討会と技術指導は、毎回多くの受講生より好評を得ております。この機会に是非受講していただきますようご案内申し上げます。

記

【開催期日】 平成27年1月30日(金)～2月1日(日)

【研修会場】 日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1 TEL 03-3401-0101

【受講資格】 消化管造影検査に係わりのある方ならどなたでも受講できます。

【受講費用】 日本消化器がん検診学会 正会員または一般会員A,B 30,000円、
非会員 50,000円

【募集人数】 100名(定員になり次第締め切ります)

【宿泊について】 今年度より合宿制は廃止しました。宿泊は各自で手配してください。

【申込締切】 平成26年11月30日

【応募方法】 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線部会ホームページより
<http://www.jsjgcs-kanto-x.org/>

以上

News

12月号

前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長報告

先日は大分県で第30回の日本診療放射線技師会学術大会がありました。大分県学術大会に参加された方も東京都で留守の対応をしていただいた方も大変お疲れ様でした。大分県学術大会における東京都診療放射線技師会の情報交換会も大勢が集まっていたことができました。情報交換会を企画していただいた野口理事も本当に有難うございました。たいへん学術大会も盛り上がり、演題数は過去最高ということでした。一昨年におこなわれた名古屋学術大会で過去最高を記録して、当分破られないだろうと言われていましたが、それを島根県の学術大会が越えて、それもまた大分県学術大会が演題登録数を上回りました。参加数については、名古屋に比べると交通の便もあり、多少下回ったようですが、演題登録などは過去最高という学術大会でした。大分県診療放射線技師会の総会員数が300人の規模で、大会役員や実行委員が100名くらいだったということです。大分県の会員の3分の1くらいの方が委員として参加されたように、東京都診療放射線技師会の3分の1だったら、すごい大会になると感じました。本当に素晴らしい大会でした。いずれは東京が学術大会を主催する立場になります。その時は、皆さんの力を合わせたいと思いますのでよろしくお願いします。

報告事項

1) 会長

記載の通りですが、大分県の学術大会期間に2つの会議がありました。第2回の放射線技師連盟理事会と9月20日

日 時：平成26年10月2日(木)

午後6時45分～午後8時00分

場 所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、高野修彰、浅沼雅康、
市川重司、高坂知靖、藤田賢一、平瀬繁男、
竹安直行、岡部博之、飯島利幸、安宅里美、
江田哲男、鈴木晋、工藤年男

出席監事：乙井不二夫

欠席理事：千葉利昭

指名出席者：鈴木雄一、今野重光、富丸佳一、鎌田修、
崎浜秀幸、内山秀彦、池田麻衣(第15地区委員長代理)、
長谷川雅一(総務委員)、河内康志(総務委員)、
雨宮広明(総務委員)

議 長：篠原健一(会長)

司 会：葛西一隆(副会長)

議事録作成：雨宮広明

(土)に全国会長会議がありました。全国会長会議については、日本診療放射線技師会の理事の立場で出席したため、東京の会長は、代理で葛西副会長に行っていただきました。全国会長会議では、中澤会長から3つの話がありました。一つ目は、第30回の日本診療放射線技師会学術大会の感謝の意です。2つ目は、診療放射線技師の業務範囲の拡大について、全国の技師5万1千人を対象に統一講習会を来年の4月より実施する予定という内容です。内容については、診療放射線技師の業務範囲の拡大として増えた注腸、静脈注射の抜針、止血、また放射線治療の直腸から空気を抜く、一次救命処置を含めた統一講習会を考えているとのことでした。10月1日に具体的な厚生労働省からのガイドラインなどが出るという話でした。この業務範囲の拡大というのは、この業務を私は安全講習会を受けなくては良いという話のものではなく、診療放射線技師として業務範囲が拡大したため、基本的には資格を持っている人で既卒の人は全員受けて下さいという趣旨とのことでした。ただ、5万1千人一度に受けられませんので、現在、個別に東京都診療放射線技師会でも先日ありましたが、静脈注射の抜針、止血についての講習会や全国でやっています日本診療放射線技師会の注腸における講習会など個別の講習会を受けた方を優先して受けていただく、また、静脈注射の抜針、止血の講習会を受けた方は当日講習会の静脈注射の抜針、止血に関しては免除する。当然のことながら、金銭的にも安くなり、すでに個別の受講をしている方が優先的に統一講習会を受講できるようにするという話でした。3つ目は、自民党の中に懇話会を設立する。われわれのさらなる業務範囲の拡大、公益社団法人の立場では、詳しい話は分かりませんが議員連盟というのは作れないそうです。ただし、議員懇話会というのは作れるということで、自民党の中に設立していただいたので、皆さまのご理解とご支援をいただきたいという話でした。

議題の1つ目は、医学物理士の国家資格化の話でした。現

在、医学物理士の3分の2が診療放射線技師ですが、医学物理士の中から診療放射線技師を排除しようという流れがあるそうです。以前の国会の中で、安倍総理が医学物理士を国家資格化することは考えていないという答弁がありました。そのためアンケート調査を行った上で、ほとんどの診療放射線技師会の回答が国家資格化には、日本診療放射線技師会としても、医学物理士の国家資格化については、反対という立場をとっています。日本の放射線治療を支えているのは診療放射線技師だけではありませんが、診療放射線技師が追っている部分も大きいと考えています。医学物理士学会から排除しようという流れは職能団体として受け入れられないという内容でした。議題の2つ目は、議員懇話会の設立ということで、11月4日にホテルニュー大谷で設立のパーティが行われます。

それから、学術大会開催地について、来年の京都まで正式に決まりました。再来年の第32回の資料が提出され岐阜県が立候補して、長良川国際会議場で学術大会を開催することが決まりました。

4つ目の議題は、臨床実習全国統一研修会という統一した講習会を16時間のカリキュラムで行うことが議題となりました。

5つ目の議題は、文部科学省と厚生労働省の中に診療放射線技師教育における臨床実習の在り方についての分科会みたいなものを作ってほしいという要望書を出したという話があります。これは、実習していた学生がポジショニングをしたということがあり、従来であれば、ばく射はできないけれども施設により、ポジショニングを行わせてくれるところもあったと思います。それが、ポジショニングも撮影の一部であるという解釈があり、診療放射線技師法として違法であるという解釈があって、正式には法的にどう解釈するということも含めて文部科学省と厚生労働省に検討会を立ち上げてほしいとの趣旨の説明がありました。最後ですが、以前に診療放射線技師が分かる小冊子がありましたが、データとして配布しますので自由にお使いくださいとのことです。自由といいましても、行政や祭りに配布するのは自由ですが、何かに使って本にするなどは著作権の問題もあるため使用できませんと話がありました。その他、活動報告書に追加なし。

2) 副会長

活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

・ 渉外委員会

都民の日に済生会中央病院の鈴木啓和さんが功労賞を受賞しています。

その他、活動報告書に追加なし。

4) 委員会等報告

活動報告書に追加なし。

5) 地区活動報告

- ・ 第3地区欄の第4地区研修会、城南支部研修会を第4地区欄へ修正
- ・ 第4地区欄の第3地区研修会、城西支部研修会を第3地区欄へ修正
- ・ 第9地区委員会9月11日開催→9月25日開催に修正
- その他、活動報告書に追加なし

議 事

1) 2019年【平成2019年】第35回学術大会・AACRT立候補について

篠原会長：東京オリンピックの前の年となる第35回学術大会・AACRT学術交流大会について、日本診療放射線技師会から立候補の打診がありました。今回、大分県で行われた東アジア学術交流会は、韓国と台湾と日本、そしてマレーシア、タイの会長を招いて行われています。第35回学術大会と同時に行われる予定のAACRTについては、アジア、オーストラレーシアのため、ニュージーランド、オーストラリアを含めた東アジア、南アジア範囲の少し大きな大会になる予定です。そのため、大都市ではないとできないということで、第35回学術大会は、東京都で開催してもらえないかという打診がありました。以前、理事会で第30回学術大会の立候補について承認をいただきました。今回行われた第30回大分県学術大会についての立候補でしたが、承認した時点で大分が立候補されていて、大分県と争ってまでというのはなかったため、立候補を行いませんでした。今回の第35回学術大会・AACRT学術交流大会は、大都市で開催予定ということで、今回についても立候補して決まるかどうかは分かりませんが一度理事会で承認いただきたいです。また、AACRTについても日本診療放射線技師会として立候補する段階ということです。ほぼ、日本で決まらうと予想して動いている段階です。日本に正式に決まれば、大きな都市でしか開催できないだろうということで、東京に立候補してほしいという打診がありました。東京オリンピックの前の年なのでタイミング的にも良いのではないかとのことでした。東京オリンピックの年でなく、良かったという意味合いだと受け止めています。また、沢山気になることはあるのですが、一つ気にかかることは、関東甲信越の1都9県の枠組みで行っている学術大会が順番道理とすると18年で一回りして、19年は東京都開催の年度になります。そのことについては、北関東、南関東地域の皆さんとすり合わせをした上で立候補する手順が必要です。今のところ本日承認が得られれば、関東甲信越地域で全国大会がある場合は、その地域について開催を飛ばすということで、1都9県の皆さんにご理解いただきたいというつもりでいます。今から2019年だと5年後になりますが、3年前ぐらいから実行委員の立ち上げ、会場の予約を含めて2016年ころから動きはじ

めないといけないと考えています。ちなみに、第31回学術大会が京都、第32回が岐阜県、第33回は北海道が立候補しており、第34回は山口県が立候補しています。第35回に東京都が立候補してもよろしいでしょうかご審議ください。

意見、質問を求めたが特になかったので採決を諮った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) 事業計画申請の件

①クリーン日暮里21（主催 荒川区青少年日暮里地区委員会）について

鈴木委員長：以前は日暮里駅前清掃という名称でしたが主催者よりクリーン日暮里21という名称で実施しており、できれば正式名称で活動していただけないでしょうかと連絡がありました。

篠原会長：いままでの日暮里駅前清掃活動と同じですか。

鈴木委員長：内容は全く同じで名称のみの変更です。

葛西副会長：河原の清掃とは違うのでしょうか。

鈴木委員長：以前、事業申請させていただいたのですが、10月13日に今までは赤羽の付近で荒川の河川敷清掃を行っていたのですが、今年から主催者より会場の変更があり平井大橋の近辺の荒川河川敷で清掃活動を行うとなりました。第5地区から事業申請させていただいたのですが、保険の関係で、参加者を事前に伝えるため東京都診療放射線技師会として伝えますので、第5地区鈴木まで連絡いただいて参加していただければと思います。

浅沼編集委員長：クリーン日暮里21について保険などは大丈夫なのでしょうか。

鈴木委員長：日暮里清掃活動について保険はありません。

浅沼編集委員長：今回は荒川清掃活動については申し込み期限をつけた方がよろしいでしょうか。

鈴木委員長：そうだと思います。以前に、日暮里駅前清掃に関しては、第5地区の事業で、荒川河川敷清掃活動については東京都診療放射線技師会事業という内容という話があったと思います。今回は、相談する期間がなく、荒川河川敷清掃活動の期間が迫っていたため、第5地区より事業申請させていただいたのですが、来年度以降については、事業申請の申請などをどのようにしたらよろしいでしょうか。

篠原会長：今回に関しては、第5地区に事業を進めていただいたのでお願いしたいと思います。来年度については、しっかり検討していきます。

・クリーン日暮里21（主催 荒川区青少年日暮里地区委員会）の名称変更

・クリーン日暮里21による日暮里駅前清掃活動参加

平成26年12月20日（土）10時～12時、日暮里駅前開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

3) 新入会に関する件

9月の新入会等、会費免除申請の審議が行われた。

新入会 6名、転入0名、転出2名、退会3名

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2. 地区質問、意見に関する事項

1) 【第3地区】

・地区会員から委嘱状について質問があり、委嘱状の効力について教えていただきたい。

平瀬委員長：私からは、質問の方に病院の施設に出せば、公務となって移動時間についても労災になる場合があると説明しています。それ以外にあれば教えていただけないでしょうか。

篠原会長：それが公務になるかは職場によると思いますので分かりませんが、基本的には自分で勝手に役員になりましたとならないように紙1枚でも公認のされた委嘱状があるということです。それが届け出て、はじめて活動ができる方もいますので、効力と書いてありますが、そういう位置付けだと思います。委嘱状については必要ないという方もいますので、中には技師長なり、もっと上の院長に提出しないと活動できない方もいます。効力という言い方ですと人それぞれだと思いますが、勝手に行っている訳ではないことです。

平瀬委員長：受ける側は、メリットとデメリットがあるのでしょうか。

篠原会長：労務管理を正しく行っている会社であれば、提出しないと正式には認めないというところも私は多いと思っています。

白木副会長：私のところは義務付けられていて、兼業願いを提出します。

平瀬委員長：ありがとうございます。

2) 【第4地区】

・会員動向資料について、賛助会員数が100名を超えているが、もっと少ないのではないのでしょうか。

竹安委員長：定款で賛助会員がなくなったと思うのですが推移が変更されていないのですが説明をお願いします。

野口庶務委員長：定款後に登記を都庁に申請する必要があるため、それまでは今までの会員の方で賛助会員の方については現状のままとなっています。定款は前回総会で承認いただいたため、その後の新入会の方に関しては賛助会員の枠組みはなくなっています。

篠原会長：定款上は改正されたので正会員ですが、正式には定款を法務省と法務局に登記をして、都庁に承認されないと変更できないということで、その手続き中ということでご理解いただきたい。

竹安委員長：定款で変わったとしても、受理されるまでは変わらないということでしょうか。

篠原会長：そうなります。

- ・地区研修会のアンケートについて、いくつかの項目を統一して地区間のデータを取ることはできないでしょうか。

江田厚生調査委員長：現在、学術と統一のデータをサマーセミナー、ウィンターセミナーで行っています。厚生調査部としては、地区アンケートについては独自で行っていただきカラーを出していただいても良いのではないかと考えています。ただし、皆さんが統一性をもって全体でどういったデータが欲しいという要望があれば、現在、学術と厚生調査部で行っているアンケート用紙を使用するという考えもあります。地区研修会の発生期限を考えると地区の活性化を重視してアンケート調査をおこなっていただければと思うのですがいかがでしょうか。

竹安委員長：ご意見も分かります。厚生調査と一体でできたかと考えて質問しました。

江田厚生調査委員長：広報でも都民にアンケート調査を行っていますが、そのデータを反映されていないのではとの意見もあり、フィードバックできていないという声も聞こえています。皆さまから集めたデータの活用についても連絡があると非常に活動しやすいため皆さまにご意見いただければと思います。

篠原会長：この機会に、どういう統一データが必要と考えるか各地区から厚生調査部にご意見いただいて時期を見てアンケート調査が必要な内容については行うということではいかがでしょうか。江田厚生調査委員長からあったように調査したままではいけませんので、データの活用についてそういった声が上がらないように、私も反省しなければなりません、皆さまも協力ください。

江田厚生調査委員長：もう一点ですが、昨年、東京都内の地区近隣の病院施設の情報がいただきたいと願っていますが、データの見直しについて各地区にお願いしております。その見直しについてお願いしていますが、連絡がいただけていない状況です。専門部ばかりが動いても技師会が活性化しません。やはり地区あつての東京都診療放射線技師会であり、地区会員あつての地区活動です。その辺を含めて、もう一度ご協力をお願いと考えています。施設のデータについて、元々は皆さま元々あるところで運動をしたいという要望からです。そのデータを厚生調査部としてもきちんとしていくつもりです。ご協力についてお願いしたいと思います。

- ・新入会員に対して、東京都診療放射線技師会としては所属地区やお知らせを出していますでしょうか。また、新入会後の会誌送付の際にどの地区所属などのパンフレットを一緒に入れられないでしょうか。

野口庶務委員長：会誌と鏡文をいれております。16地区ごとと違う書類を入れてというのは負担が大きいのかなと思いますが、一覧で分かるような形にとういのはいかがでしょうか。あなたの支部は何支部で何地区ですというようなものと役員一覧などや場合によっては学術の広報

的な資料を入れるようにしてはどうかと検討しています。会誌に載っている部分などは全体では可能かもしれませんが、しかし、第4地区はこれを入れて第5地区はこれをいれてというのは難しいと思います。

竹安委員長：地区からは、これを見て何か出したりなどをしてしたいと思います。全体的なパンフレットで分かるのですが、あなたは何地区に所属しているというのがあれば嬉しいなと思います。それか、ホームページのここを見れば分かりますというようなことがあればと思います。今回入った人の聞いてみると本当に会誌だけしか入ってなかったと耳にするため、地区から伝えました。

野口庶務委員長：書類などは作成しておりますが、善処します。

竹安委員長：新しい人の会誌の送付先なども分かれば教えていただければ助かります。この間は地区のデータをいただいたと思いますが、どこに郵送して欲しいというのが個別に違うと思いますので、自宅だとか病院だとかあると思いますが会誌の郵送先に私は送っているので郵送先のデータを出していただけると助かります。

野口庶務委員長：それを住所とか電話番号とかの会員データベースになってしまうのですが。

竹安委員長：そうです。いただいたようなデータを新しく更新するような形がありがたいのですが。

野口庶務委員長：毎月の理事会でそれを行うのですか。

竹安委員長：毎月ではなくていいのですが、2カ月とか3カ月とかごとでいただければ案内を送るのが遅れてしまうので助かります。

野口庶務委員長：入会の申込書を理事会で何のために回覧しているかは個別に出してはおりませんが、地区で把握できるように回覧しています。それを地区で把握していただけないでしょうか。

竹安委員長：その第4地区の誰々が回覧に乗っていたのでメールで送っていただいたりすることはできないのでしょうか。

野口庶務委員長：個人情報の連絡先などをネット上でやり取りは行いたくないのですが。

竹安委員長：新入会の人にもう少し何かできるのかなと4地区では考えています。

野口庶務委員長：会誌の連絡先を自宅、病院などで入れるのは可能です。

竹安委員長：そこまでしていただけるのであれば助かります。

3) 【第11地区】

- ・入会促進のため尽力している会員に技師会として感謝の意を表すことはできないでしょうか。

入会を紹介した会員への謝礼が公益法人として問題があれば、紹介者の多い会員を総会などで表彰するなどが考えられます。現在の入会申請書にはTART、JARTともに紹介者名を記す欄が設けられていませんが、記入欄

を追加して紹介者の把握をすることは有意義ではないか
と思います。

篠原会長：本来自分の意志で入っていただくものです。紹介者の有る無しについては、差別化すべきでないし、謝礼が問題であれば、謝礼なんて考えられることではありません。ただ、入会促進だけではなく、技師会活動を含め色々なことに貢献していただいた人を表彰する制度はありますのでご理解いただければと思います。第11地区には説明したいと思います。

野口庶務委員長：補足ですが、入会の記入欄に紹介者を付けるのはプログラムの更新もあり、現時点ではできません。

連絡事項

1) 総務委員会

- ・中間監査の報告が地区からすべて揃いました。事業申請を出しているものは事業報告を一緒にして、提出します。10月14日（日）五役会までに事業報告書が出ていないところがありましたら提出をお願いします。
- ・12月6日（土）、7日（日）に役員研修会が15時より箱根の対岳荘にて行います。参加者を募りますので、第1回目の締め切りとして10月29日（水）専門部までに提出してください。地区の将来を担う若者やお世話になったOBの方、さまざまな方に声を掛けていただいて研修会を盛り上げていきたいと思います。
- ・来年度の平成27年度の事業計画案を地区で話していただいて、事業計画案を11月5日（水）理事会までに提出してください。

2) 編集委員会

- ・地区支部の研修会のひな型を送りました。会誌に載せるにあたり文言を揃え、会員の方が混乱しないようにしますので原則使用してください。編集委員会でも構成しますので、よろしくお願いします。補足ですが、地図や写真の添付については画質が低下するのでJPEGなどでファイルを添付してください。
- ・三役員については巻頭言を執筆しておりますが、役員改正があった場合には、委員長の記事を会誌に掲載させていただいています。今回も役員改正が6月にあり、12月に役員名簿が掲載されますので、写真付きで紹介文を載せたいと思います。一部の方は、前回紹介記事掲載

時の写真が編集委員会にありますので、同じ写真で良い方はそのまま使用しますが、無い方などは文章と合わせて写真を今月末までに送ってください。不明な内容については、個別に編集委員長に連絡ください。

3) 情報委員会

- ・パンフレットを3委員会（情報・広報・編集）の合同で構成し、来年度までに作製する予定です。イベントや広報活動に使用していただければと考えています。

4) 学術・教育委員会

- ・MRI集中講習テキストの改訂版を作成しました。前回は999冊の販売ということです。内容については、改訂版には講習会の内容も付加しており、値段は据え置きです。Amazon.comで販売していますので、各施設で改訂版を購入していただいて、現場で使用していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

5) 厚生調査委員会

- ・ボーリング大会を11月8日（土）に高田馬場のシチズンホールで行う予定です。ボーリング大会後の懇親会についても参加をお願いします。

6) 広報委員会

- ・10月26日（日）中央区健康まつりがあります。
- ・11月2日（日）、3（月）にOTAフェスタがあります。参加・協力をお願いします。

7) 支部・地区委員会

- ・10月31日（金）第6地区の研修会を東京都診療放射線技師会研修センターにて開催します。参加・協力をお願いします。
- ・10月23日（木）第16地区と埼玉県技師会の合同で所沢にて勉強会を開催します。参加・協力をお願いします。

8) 日本診療放射線技師会教育委員会

11月9日（日）に静脈注射講習会、11月30日（日）に、特別講習の消化管があります。ともに、昨日より申し込み開始です。定数50名で三鷹での開催になります。統一講習に向け参加のほどをお願いします。

今後の予定

予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。ファイルは随時更新していますが、ブッキングや間違えなどがあれば、石田総務委員長までご連絡ください。

以上

平成26・27年度公益社団法人東京都診療放射線技師会役員名簿

理事・監事

役 職	氏名	勤務先
代表理事（会長）	篠原 健一	河北総合病院
理事（副会長）	葛西 一隆	帝京大学医療技術学部診療放射線学科
理事（副会長）	白木 尚	東京大学医学部附属病院
業務執行理事	石田 秀樹	昭和大学歯科病院
業務執行理事	関 真一	立正佼成会附属佼成病院
業務執行理事	野口 幸作	東京臨海病院
理 事	浅沼 雅康	東京女子医科大学病院
理 事	安宅 里美	本多病院
理 事	市川 重司	公立福生病院
理 事	高坂 知靖	佐々総合病院
理 事	高野 修彰	東京通信病院
理 事	江田 哲男	東京都済生会中央病院
理 事	藤田 賢一	永寿総合病院
理 事	平瀬 繁男	東京医科大学病院
理 事	飯島 利幸	日本大学医学部附属板橋病院
理 事	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
理 事	千葉 利昭	東邦大学医療センター大橋病院
理 事	岡部 博之	医療法人社団 明芳会 新葛飾病院
理 事	工藤 年男	春日部市立病院
理 事	鈴木 晋	公立昭和病院
監 事	乙井不二夫	古川橋病院
監 事	野田扇三郎	野田税理士事務所

顧問

顧 問	岩田 拓治	
顧 問	國定 忠彦	
顧 問	橋本 宏	
顧 問	中澤 靖夫	

専門部委員会

総務委員会

委員長	石田 秀樹	昭和大学歯科病院
委 員	長谷川雅一	慶應義塾大学病院
委 員	河内 康志	東京都済生会中央病院
委 員	秋田 敬子	河北総合病院
委 員	岡部 圭吾	昭和大学江東豊洲病院
委 員	高瀬 正	昭和大学病院
委 員	雨宮 広明	関野病院
委 員	吉井 伸之	昭和大学病院
委 員	大脇 由樹	慶應義塾大学病院

経理委員会

委員長	関 真一	立正佼成会附属佼成病院
委 員	矢野 孝好	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	横田 光	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
委 員	人見 謙二	

編集委員会

委員長	浅沼 雅康	東京女子医科大学病院
副委員長	内藤 哲也	東大和病院
委 員	岩井 謙憲	昭和大学藤が丘病院
委 員	森 美加	杏林大学保健学部診療放射線技術学科
委 員	中谷 麗	東京通信病院
委 員	柴山 豊喜	聖路加国際病院附属クリニック
委 員	平田 充弘	読売健康保険組合読売診療所
委 員	高橋 克行	足立共済病院

情報委員会

委員長	安宅 里美	本多病院
委 員	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
委 員	渡邊 真弓	河北総合病院
委 員	岡 雄介	日本赤十字社医療センター
委 員	臺 洋平	済生会中央病院
委 員	中嶋 孝義	昭和大学病院

学術教育委員会

役 職	氏名	勤務先
委員長	市川 重司	公立福生病院
委 員	河合 繁	東京慈恵会医科大学附属第三病院
委 員	圓城寺純男	多摩南部地域病院
委 員	野中 孝志	公立福生病院
委 員	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	長谷川浩章	東京大学医学部附属病院
委 員	岡本 実音	三井記念病院
委 員	徳間 信子	みさと健和病院
委 員	岡本 淳一	東京医科大学病院
委 員	池田 麻依	帝京大学医学部附属溝口病院
委 員	高橋 優弥	日本赤十字社医療センター
委 員	鳥井志真子	東京都がん検診センター
委 員	比内 聖紀	日本大学医学部附属板橋病院

広報委員会

委員長	高坂 知靖	佐々総合病院
委 員	澤田 俊明	NEC健康管理センター
委 員	仲田 一成	東京医科大学病院
委 員	田中 志穂	慶応義塾大学病院
委 員	菅間 敏光	
委 員	柚澤 路子	
委 員	江積 孝之	野村病院
委 員	大月 智絵	武蔵村山病院
委 員	篠田 浩	公立昭和病院

渉外委員会

委員長	高野 修彰	東京通信病院
委 員	大室 正巳	東京通信病院

厚生調査委員会

委員長	江田 哲男	東京都済生会中央病院
委 員	黒澤 和彦	アムスランドマーククリニック
委 員	斎藤 誠司	成城木下病院
委 員	飯島 文洋	東京都済生会中央病院
委 員	緒方 達哉	日本赤十字医療センター
委 員	山中 真悟	公立福生病院
委 員	能勢 記代	公立昭和病院

庶務委員会

委員長	野口 幸作	東京臨海病院
委 員	松田紗代子	山王病院
委 員	浅沼 芳明	板橋中央総合病院

支部委員会

城東支部委員会

支部委員長	藤田 賢一	永寿総合病院
副支部委員長	齊藤 謙一	東京通信病院

城西委員会

支部委員長	平瀬 繁男	東京医科大学病院
副支部委員長	飯島 利幸	日本大学医学部附属板橋病院

城南支部委員会

支部委員長	千葉 利昭	東邦大学医療センター大橋病院
副支部委員長	原子 満	帝京大学医学部附属溝口病院

城北支部委員会

支部委員長	工藤 年男	春日部市立病院
副支部委員長	鈴木 雄一	東京大学医学部附属病院

多摩支部委員会

支部委員長	鈴木 晋	公立昭和病院
副支部委員長	崎浜 秀幸	百草の森ふれあいクリニック

平成26・27年度公益社団法人東京都診療放射線技師会役員名簿

地区委員会

第1地区

役 職	氏名	勤務先
委員長	齊藤 謙一	東京通信病院
副委員長	保川 裕二	東京通信病院
委 員	平田 充弘	読売クリニック
委 員	安田 知子	杏雲堂病院
委 員	大澤 享	三井住友銀行本店健康開発センター
委 員	渡部 史也	三井記念病院

第2地区

委員長	藤田 賢一	永寿総合病院
副委員長	関谷 薫	浅草病院
委 員	川田 尚孝	永寿総合病院
委 員	栗屋 浩介	永寿総合病院
委 員	阿蘇 敏樹	永寿総合病院
委 員	大澤 史佳	中央みなとクリニック
委 員	寺田 正巳	聖路加国際病院
委 員	江田 裕介	聖路加国際病院
委 員	柴山 豊喜	聖路加国際病院
委 員	宇内 大祐	聖路加国際病院
委 員	叶 将也	聖路加国際病院
委 員	中村 隆博	小澤病院

第3地区

委員長	平瀬 繁男	東京医科大学病院
副委員長	松本 亘	東京医科大学病院
委 員	石上 信雄	東京医科大学病院
委 員	井場 稔	慶応義塾大学病院
委 員	熊谷 大樹	国立がん研究センター東病院
委 員	田中 志穂	慶応義塾大学病院
委 員	長谷川雅一	慶応義塾大学病院
委 員	峰岸 純一	東京都予防医学協会
委 員	宗友 郁子	慶応義塾大学病院
委 員	若松 和行	国立国際医療研究センター病院

第4地区

委員長	竹安 直行	日本赤十字社医療センター
副委員長	高橋潤一郎	虎の門病院
委 員	大河内明彦	東京慈恵会医科大学附属病院
委 員	三上 徹	東京都済生会中央病院
委 員	野口 景司	東京慈恵会医科大学附属病院
委 員	松田 敏治	東京慈恵会医科大学附属病院
委 員	飯田 哲也	東京慈恵会医科大学附属病院
委 員	秋山 桂佑	東京慈恵会医科大学附属病院
委 員	目黒 一浩	東京都済生会中央病院
委 員	臺 洋平	東京都済生会中央病院
委 員	北岡 勇人	東京都済生会中央病院
委 員	鈴木 啓和	J C & M S
委 員	佐藤 伸一	芝病院
委 員	本多 絵美	日本赤十字社医療センター
委 員	丸山 大樹	日本赤十字社医療センター
委 員	湯浅 仁博	北里大学北里研究所病院
委 員	羽田 雅浩	北里大学北里研究所病院
委 員	川内 覚	虎の門病院

第5地区

委員長	鈴木 雄一	東京大学医学部附属病院
副委員長	稲毛 秀一	順天堂大学医学部附属順天堂医院
委 員	関 良充	東京北医療センター
委 員	若杉 慶市	トヨタ自動車診療所
委 員	大塚 健司	東京大学医学部附属病院
委 員	藤田 正義	東京大学医学部附属病院
委 員	中村 浩英	東京大学医学部附属病院
委 員	大貫 弘二	順天堂大学医学部附属順天堂医院
委 員	鈴木 正晴	東京健生病院
委 員	中田 健太	東京大学医学部附属病院

第6地区

役 職	氏名	勤務先
委員長	岡部 博之	新葛飾病院
副委員長	高橋 克行	足立共済病院
委 員	柳原 淑幸	東京さくら病院
委 員	平林 秀行	内田病院
委 員	横田 光	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
委 員	河合 繁	東京慈恵会医科大学附属第三病院
委 員	壬生 慎治	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
委 員	中村 真規	東京北部病院
委 員	鈴木 勝	東京女子医科大学東医療センター
委 員	伊佐 理嘉	博慈会記念総合病院
委 員	片岡 剛	等潤病院

第7地区

委員長	富丸 佳一	京葉病院
委 員	石橋 孝志	岩井整形外科内科病院
委 員	新妻 邦雄	同愛記念病院
委 員	田川 雅人	森山記念病院
委 員	梅田 宏孝	昭和大学附属豊洲病院
委 員	宇賀神哲也	江戸川区医師会医療検査センター
委 員	矢澤 真一	東京臨海病院
委 員	春木 勝博	東京都済生会向島病院

第8地区

委員長	鎌田 治	株式会社東芝 東芝病院
副委員長	三富 明	東京労災病院
委 員	美野龍太郎	東京労災病院
委 員	島田 豊	東邦大学医療センター大森病院
委 員	大津 元春	東邦大学医療センター大森病院
委 員	川田 浩紀	東邦大学医療センター大森病院
委 員	富永 良英	東邦大学医療センター大森病院
委 員	中西 雄一	N T T 東日本関東病院
委 員	古田恵美子	N T T 東日本関東病院
委 員	西村 雄介	N T T 東日本関東病院
委 員	中嶋 孝義	昭和大学病院
委 員	久保 聡	昭和大学病院
委 員	薄井 裕美	昭和大学病院
委 員	峯岸健太郎	昭和大学病院
委 員	島野 賢	昭和大学病院
委 員	島谷 将也	昭和大学病院

第9地区

委員長	飯島 利幸	日本大学医学部附属板橋病院
副委員長	齊藤 由彦	恵比寿検診センター
委 員	坂西 和良	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	大津 瑞恵	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	松田 雅之	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	市川 篤志	日本大学医学部附属板橋病院
委 員	小船 裕司	駿河台日本大学病院
委 員	竹元 豊志	川口パークタワークリニック
委 員	野田 忠明	板橋中央総合病院
委 員	浅沼 芳明	板橋中央総合病院
委 員	木下 秀記	愛誠病院
委 員	堀部 芳明	池上総合病院健診センター
委 員	比内 聖紀	日本大学医学部附属板橋病院

第10地区

委員長	今野 重光	練馬区医師会医療健診センター
副委員長	小西 智誠	株式会社バロメディカル
委 員	杉本 羊右	東京衛生病院
委 員	大地 直之	河北総合病院
委 員	澤田 恒久	練馬総合病院
委 員	椿田 紘世	総合東京病院
委 員	桐 洋介	順天堂大学医学部附属練馬病院
委 員	石川 徹	順天堂大学医学部附属練馬病院

第11地区

役 職	氏名	勤務先
委員長	千葉 利昭	東邦大学医療センター大橋病院
副委員長	安藤 猛晴	東邦大学医療センター大橋病院
委 員	青木 好夫	三軒茶屋第一病院
委 員	岩田 雄介	自衛隊中央病院
委 員	岩崎 功	自衛隊中央病院
委 員	細田 誠	関東中央病院
委 員	飯塚 康彦	大腸病院
委 員	仲野 誠一	東京共済病院
委 員	斎藤 誠治	戸田病院

第12地区

委員長	鈴木 晋	公立昭和病院
副委員長	篠田 浩	公立昭和病院
委 員	細川 直志	公立昭和病院
委 員	伊藤 俊一	佐々総合病院
委 員	薄井 政男	武蔵村山病院
委 員	中野 静男	結核予防会結核研究所
委 員	小野 賢太	東大和病院

第13地区

委員長	崎浜 秀幸	百草の森ふれあいクリニック
委 員	竹中 輝和	野村病院
委 員	川崎 政士	大聖病院
委 員	清水 賢均	野村病院
委 員	柏倉 賢一	野村病院
委 員	坂本 暁彦	株式会社 I H I
委 員	菊池 悟	東京医科大学八王子医療センター
委 員	藤村 耕平	東京医科大学八王子医療センター
委 員	坂本 隆嗣	府中医王病院
委 員	首藤 淳	杏林大学医学部付属病院
委 員	福島 啓太	杏林大学医学部付属病院
委 員	助川 豪盛	多摩南部地域病院
委 員	三田 成彦	青梅市立総合病院
委 員	多田 堅	東京西徳洲会病院
委 員	熊谷 果南	公立福生病院
委 員	土谷 健人	公立福生病院
委 員	山中 章悟	公立福生病院

第14地区

委員長	内山 秀彦	東京慈恵会医科大学附属柏病院
副委員長	高林 正人	松戸市立病院
委 員	川上 光	屋比久ペインクリニック整形外科
委 員	河手 健	斉井整形外科
委 員	佐藤 修	さつき会かずさアカデミアクリニック
委 員	斎藤 晴美	日本医科大学千葉北総病院
委 員	花田 博	アビコ外科整形外科病院
委 員	松坂誠太郎	松坂誠太郎事務所
委 員	宮谷 勝巳	松戸市立福祉医療センター東松戸病院
委 員	勝木 葉子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
委 員	鈴木 貴子	帝京大学ちば総合医療センター

第15地区

委員長	原子 満	帝京大学医学部附属溝口病院
副委員長	佐々木武弘	昭和大学横浜市北部病院
委 員	水野 靖弘	帝京大学医学部附属溝口病院
委 員	本寺 哲一	昭和大学藤が丘病院
委 員	川崎 樊太	昭和大学藤が丘病院
委 員	池田 麻依	帝京大学医学部附属溝口病院
委 員	松井 幹	昭和大学横浜市北部病院

第16地区

委員長	工藤 年男	春日部市立病院
副委員長	芦田 哲也	春日部市立病院
委 員	金場 敏憲	国際医療福祉大学
委 員	中谷儀一郎	日本医療科学大学
委 員	大平 隆生	みさと健和病院
委 員	吉田 治生	春日部市立病院

特別委員会

表彰委員会

役 職	氏名	勤務先
委員長	大野 好夫	メデイカルスクエア赤坂
委 員	篠原 健一	河北総合病院
委 員	葛西 一隆	帝京大学医療技術学部診療放射線学科
委 員	白木 尚	東京大学医学部附属病院
委 員	高野 修彰	東京通信病院

災害対策委員会

委員長	渡辺 靖志	東京大学医学部附属病院
委 員	武田 聡司	災害医療センター
委 員	福原かおる	災害医療センター
委 員	金子 貴之	害医療センター
委 員	高林 正人	松戸市立病院
委 員	湯浅 仁博	北里大学北里研究所病院
委 員	中村 真規	東京北部病院
委 員	関本 道治	東京大学医学部附属病院
委 員	徳坂 慶高	日本赤十字社医療センター
委 員	吉田 勝衛	東京医科大学病院
委 員	布川 嘉信	慶應義塾大学病院
委 員	濱野 浩二	NTT東日本関東病院

事務局

	引地 春枝	
--	-------	--

平成26年度9月期 会員動向

(平成26年9月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
25年度集計	2008	1822	105	16	11	60	-6 1	186	7	1	5	6	6 -1
H26.4	2010	1825		10	3	3	-1	185			1	1	1
H26.5	2046	1861	38	2	1	3		185					
H26.6	2071	1886	23	3	1			185					
H26.7	2098	1913	29	3	1	4		185					
H26.8	2103	1919	7	2	2	1		184				1	
H26.9	2104	1921	6		2	2		183				1	

新卒新入＝★

9月度	新入会(6名)	小島 理美	北部セントラル病院	5 地区	
		雫 好樹	府中恵仁会病院	13 地区	
		大谷 勇気	大久保病院	3 地区	
		加藤 仁規	帝京大学医学部附属溝口病院	15 地区	
		大工原 諒	昭和大学病院	8 地区	★
		細野 忠俊	多摩南部地域病院	13 地区	
	転出(2名)	油原 俊之	東京女子医科大学東医療センター → 埼玉県へ	6 地区	
		久住 祐輔	昭和大学病院 → 埼玉県へ	8 地区	
	退会(3名)	島田 尋行	永生病院	13 地区	
		大多和 慶信		14 地区	賛
		中島 浩	JR東京健康管理センター	13 地区	

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立68年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学 校 名：東京電子専門学校

住 所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待 遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇
賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00(実働7時間)、週休2日(土日祭休) 休出は代休有、半日有給制度有

社 会 保 険：社会保険完備(私学共済)

宿舍の有無：なし

応募方法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、
担当できる教科(可能であればお知らせください)

担 当 者：脇坂 哲夫 E-mail: wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL: 03(3982)3131(大代表) FAX: 03(3980)6404

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成26年度

1. 学術研修会
 - ☆第13回ウインターセミナー 平成27年 1月17日 (土)
2. きめこまかな生涯教育
 - 第54回きめこまかな生涯教育 平成27年 2月
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第40回日暮里塾ワンコインセミナー 平成26年12月 2日 (火)
 - 第41回日暮里塾ワンコインセミナー 平成26年12月 9日 (火)
 - 第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー 平成27年 1月24日 (土)
4. 集中講習会
 - 第 7 回MR I 集中講習会 平成27年 2月 7日 (土)
 - 第 1 回C T集中講習会 平成27年 2月
- ☆5. 支部研修会
 - 城西・多摩支部研修会
6. 地区研修会
 - 第 4 地区研修会 平成26年12月 4日 (木)
 - 第12地区研修会 平成27年 1月17日 (土)
 - 第 1 地区研修会 (第 3 回) 平成27年 1月28日 (水)
 - 第15地区研修会 平成27年 2月10日 (火)
7. 特別委員会研修会
8. 地球環境保全活動
 - 荒川河川敷清掃活動
 - 日暮里駅前清掃活動 平成26年12月20日 (土)
 - 富津海岸清掃活動

関連団体

- 第 2 回乳がん検診従事者講演会 平成26年12月 4日 (木)
- 平成26年度第 4 回静脈注射 (針刺しを除く) 講習会 平成27年 1月25日 (日)
- 平成26年度マンモグラフィー研修会 (読影入門編) 平成27年 1月15日 (木)・16日 (金)
- 第37回消化器造影技術研修会 平成27年 1月30日 (金)～2月 1日 (日)
- 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」 平成27年 2月 1日 (日)
- 平成26年度マンモグラフィー研修会 (ポジショニング入門) 平成27年 2月19日 (木)・20日 (金)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

平成26年 東京放射線 総目次

Vol.61 No.713~723

1月号 Vol.61 No.713

謹賀新年	4
巻頭言 年頭所感	5
会長 篠原健一	
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款及び諸規程の改正案に関する意見募集について	6
会告2 新春のつどい	7
会告3 第51回きめこまかな生涯教育	8
学術教育委員会	
会告4 第28回日暮里塾ワンコインセミナー	9
学術教育委員会	
会告5 平成25年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」	10
会告6 第12回ウインターセミナー	11
学術教育委員会	
会告7 第6回MRI集中講習会	12
学術教育委員会	
会告8 平成25年度多摩支部研修会	13
多摩支部委員会	
会告9 第29回日暮里塾ワンコインセミナー	14
学術教育委員会	
会告10 平成25年度城西支部研修会	15
城西支部委員会	
会告11 災害対策委員会研修会	16
災害対策委員会	
お知らせ1 第12地区研修会	17
第12地区	
お知らせ2 第8地区研修会	18
第8地区	
お知らせ3 第5地区研修会	19
第5地区	
東京都功労者表彰	20
渉外委員会	
平成26年新春企画 新春座談会	22
連載 誌上講座 臨床検査「病理検査の概要」	31
佐藤和美、山田 晶、小松和典	
こえ	

- ・第50回きめこまかな生涯教育に参加して
- 市川重司 34
- ・平成25年度中央区健康福祉まつり印象記
- 三津間理紗 35

NEWSひろい読み	36
-----------	----

パイプライン

・第36回消化管造影技術研修会	38
・厚生労働省受託事業「チーム医療による災害支援～多職種連携の推進に向けて～」	39
平成25年度第7回理事会報告	40
研修会等申込書	47

Column & Information

- ・イエローケーキ
- 43
- ・学術講演会・研修会等の開催予定
- 44
- ・求人情報
- 46

2月号 Vol.61 No.714

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 「3」～神秘的・不思議な数字～	4
副会長 白木 尚	
会告1 平成25年度多摩支部研修会	5
多摩支部委員会	
会告2 第29回日暮里塾ワンコインセミナー	6
学術教育委員会	
会告3 平成25年度城西支部研修会	7
城西支部委員会	
会告4 平成25年度第5回静脈注射（針刺しは除く）講習会	8
会告5 災害対策委員会研修会	9
災害対策委員会	
会告6 第2地区研修会（第30回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	10
第2地区・学術教育委員会	
会告7 第31回日暮里塾ワンコインセミナー	11
学術教育委員会	
お知らせ1 第5地区研修会	12
第5地区	
お知らせ2 「TART」ロゴマーク決定の報告	13
「サーバイメータ保有状況」に関するアンケート集計結果	14
災害対策委員会	

診療放射線技師認識度とOTAフェスタブース調査アンケート報告	20
厚生調査委員会	
新連載 誌上講座 第1回「Fracture -Cross Search-」	22
小山 謙、森 美加	
こえ	

- ・第26回日暮里塾ワンコインセミナー・第15地区研修会を受講して
- 岡 孝晃 27
- ・第15地区研修会・第26回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催に参加して
- 元島祐介 28
- ・「腹部単純撮影～一般撮影・CT画像を中心に急性腹症の一次読影について～」を聴講して
- 吉村 茜 28
- ・第6地区研修会に参加して
- 富樫敦史 29
- ・「OTAフェスタ」に参加して
- 吉井健佑 30

NEWSひろい読み	31
-----------	----

パイプライン

- ・日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 放射線部会第46回学術集会
- 34
- ・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第6回セミナー
- 35
- ・平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会
- 36

平成25年度第8回理事会報告	37
----------------	----

平成25年11月期会員動向	39
---------------	----

会費減額制度のお知らせ	42
-------------	----

会費減額処置申請書	43
-----------	----

Column & Information

- ・会費納入のお願い
- 39
- ・学術講演会・研修会等の開催予定
- 40
- ・イエローケーキ
- 41
- ・求人情報
- 41

3月号 Vol.61 No.715

巻頭言 改正	4
会長 篠原健一	
告示1 平成26・27年度役員選挙	5
選挙管理委員会	
告示2 平成26・27年度役員選挙 理事会推薦外部監事選挙管理委員会	6
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会	6
会告2 平成26・27年度役員選挙の実施について	7
会告3 災害対策委員会研修会	10
災害対策委員会	
会告4 第2地区研修会（第30回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	11
学術教育委員会	
会告5 第31回日暮里塾ワンコインセミナー	12
学術教育委員会	
会告6 第32回日暮里塾ワンコインセミナー	13
学術教育委員会	
会告7 第65回定期総会での表彰（勤続20年）について	14
渉外委員会	
平成25年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果	15
厚生調査委員会	
連載 誌上講座 第4回臨床検査「生理機能検査」	23
尾形申弐	
連載 誌上講座 第2回「Fracture -Cross Search-」	26
小山 謙、森 美加	
こえ	

- ・第3地区研修会印象記
- 大瀬裕太 29
- ・第4地区研修会に参加して
- 羽田雅浩 30
- ・「いまさら聞けないMRIの安全管理」に参加して
- 松田敏治 31

NEWSひろい読み	32
-----------	----

パイプライン

- ・第23回日本消化管画像研究会 読影セミナー
- 35
- ・平成25年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会
- 36
- ・第12回マルチモダリティシンポジウム「Versus」
- 38
- ・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第6回セミナー
- 40
- ・平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会
- 41

平成25年度第9回理事会報告	42
----------------	----

会費減額制度のお知らせ	46
-------------	----

会費減額処置申請書	47
-----------	----

登録事項変更届.....	50
研修会等申込書.....	51
———— Column & Information ————	
・学術講演会・研修会等の開催予定.....	44
・イエローケーキ.....	45
・会費納入のお願い.....	45
・求人情報.....	49
4月号 Vol.61 No.716	
診療放射線技師業務標準化宣言.....	4
巻頭言 朝の来ない夜はない.....会長 篠原健一	5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会...	6
会告2 第52回きめこまかな生涯教育.....学術教育委員会	7
会告3 平成26年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第33回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 学術教育委員会	8
会告4 第12回バイシエントケア学術大会.....学術教育委員会	10
連載 誌上講座 第5回臨床検査「臨床検査部より 輸血検査室から」.....藤本昌子	11
連載 誌上講座 第3回「Fracture -Cross Search-」...荒殿太郎、高橋克行	14
こえ	
・第20回役員研修会参加報告.....柴山豊喜	19
・第51回きめこまかな生涯教育に参加して.....杉澤路子	20
・第12地区研修会に参加して.....吉村 良	21
・平成25年度多摩支部研修会に参加して.....浜谷紗織	22
・MRI集中講習会に参加して.....長谷川郁子	23
NEWSひろい読み.....	24
パイプライン	
・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第6回セミナー.....	27
・第12回マルチモダリティシンポジウム「Versus」.....	28
・平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会.....	30
平成25年度第10回理事会報告.....	31
平成25年12月・平成26年1月期会員動向.....	34
———— Column & Information ————	
・第65回定期総会 準備委員名簿.....	13
・「東京放射線」5月号のお知らせ.....	34
・イエローケーキ.....	36
・お詫びと訂正.....	36
・学術講演会・研修会等の開催予定.....	37
・求人情報.....	38
5月号 Vol.61 No.717	
診療放射線技師のための接遇規範.....	4
巻頭言 新旧時代の流れ.....副会長 葛西一隆	5
告示 公益社団法人東京都診療放射線技師会 平成26・27年度役員選挙について選挙管理委員会	6
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会...	7
会告2 平成26年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第33回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 学術教育委員会	8
会告3 第52回きめこまかな生涯教育.....学術教育委員会	10
会告4 第12回バイシエントケア学術大会.....学術教育委員会	11
会告5 平成25年度学術奨励賞.....学術教育委員会	12
会告6 平成25年度学術新人賞.....学術教育委員会	13
お知らせ1 学術教育委員会よりアンケートのお願い 学術教育委員会	14

お知らせ2 公開講座開催のお知らせ.....学術教育委員会	14
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会資料	
・第1号議案 平成25年度事業報告（案）.....	15
I 総括	
II 事業報告	
III 活動報告	
IV 活動報告（庶務概要）	
・第2号議案 平成25年度決算報告（案）.....	36
平成25年度監査報告.....	45
・第3号議案 平成26年度事業計画（案）.....	46
I 総括	
II 定款に基づく本会の事業	
III 委員会事業計画	
・第4号議案 平成26年度予算（案）.....	56
・第5号議案 定款改正（案）および役員の報酬に関する規程の提案...	58
パイプライン	
・第8回中央医療技術専門学校同窓会 全国支部長会議のお知らせ...	61
・第31回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会のご案内...	61
・第12回マルチモダリティシンポジウム「Versus」.....	62
・平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会.....	64
平成25年度第11回理事会報告.....	65
平成26年2・3月期会員動向.....	67
研修会等申込書.....	70
———— Column & Information ————	
・第65回定期総会 準備委員名簿.....	12
・学術講演会・研修会等の開催予定.....	69
・求人情報.....	71

6月号 Vol.61 No.718	
診療放射線技師業務標準化宣言.....	4
巻頭言 6月と言えば.....副会長 白木 尚	5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会...	6
会告2 第12回バイシエントケア学術大会.....学術教育委員会	7
会告3 第34回日暮里塾ワンコインセミナー.....学術教育委員会	8
会告4 第35回日暮里塾ワンコインセミナー.....学術教育委員会	9
会告5 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」.....	10
会告6 平成26年度城東支部研修会.....城東支部委員会	11
会告7 平成26年度第1回静脈注射（針刺しは除く）講習会.....	12
お知らせ1 地球環境保全活動（日暮里駅前清掃活動）...第5地区	13
連載 誌上講座 第6回臨床検査「医療情報の統合化—IHE—」佐藤英樹、古谷弘一	14
連載 誌上講座 第4回「Fracture -Cross Search-」...小山 謙、森 美加	18
こえ	
・第5地区富津海岸清掃活動に参加して.....鈴木正晴	23
・平成25年度 災害対策委員会研修会 印象記.....中嶋直人	24
・第2地区研修会・第30回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催に参加して市村孝幸	26
・第2地区研修会後記.....松村育紀	27
NEWSひろい読み.....	28
パイプライン	
・第8回中央医療技術専門学校同窓会 全国支部長会議のお知らせ...	32
・第31回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会のご案内...	32
・超音波画像研究会 定例会・講習会.....	33
・平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会.....	34

平成26年度第1回理事会報告	35
平成26年4月期会員動向	38
公開講座のお知らせ	42
研修会等申込書	43
—Column & Information—	
・第65回定期総会 準備委員名簿	13
・学術講演会・研修会等の開催予定	39
・求人情報	37,41

7・8月合併号 Vol.61 No.719

巻頭言 三期目就任にあたって	会長 篠原 健一 4
会告1 第34回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5
会告2 第35回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6
会告3 平成26年度城東支部研修会	城東支部委員会 7
会告4 平成26年度第1回静脈注射（針刺しは除く）講習会	8
会告5 第13回サマーセミナー	学術教育委員会 9
会告6 第14回合同学術講演会	10
会告7 平成26年度城北支部研修会	城北支部委員会 11
会告8 平成26年度第2回静脈注射（針刺しは除く）講習会	12
お知らせ1 地球環境保全活動（日暮里駅前清掃活動）...第5地区	13
連載 誌上講座 第7回臨床検査「一般検査」	小林紘士 14
連載 誌上講座 第5回「Fracture -Cross Search-」小山 謙、森 美加	17
こえ	
・ピンクリボンウォーク2014に参加して	大月智絵 21
・救命講習会（第31回日暮里塾ワンコインセミナー）に参加して...匿名希望参加者	22
・「フレッシュアーズセミナー」および「新入会促進セミナー」に参加して足立祐太郎	23
・フレッシュアーズセミナーに参加して	山中真悟 24
NEWSひろい読み	25
パイプライン	
・超音波画像研究会 定例会・講習会	28
平成26年度第2回理事会報告	29
研修会等申込書	35

—Column & Information—	
・イエローケーキ	13
・求人情報	31
・学術講演会・研修会等の開催予定	32

9月号 Vol.61 No.720

診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 私たちはプロフェッショナル！	副会長 白木 尚 5
会告1 第13回サマーセミナー	学術教育委員会 6
会告2 第14回合同学術講演会	7
会告3 平成26年度城北支部研修会	城北支部委員会 8
会告4 平成26年度第2回静脈注射（針刺しは除く）講習会	9
会告5 第36回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 10
会告6 第37回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 11
会告7 地球環境保全活動（下平井水辺の楽校）	第5地区 12
会告8 第53回きめこまかな生涯教育	13
お知らせ1 第16地区研修会（TART・SART地区合同勉強会）...	14
お知らせ2 第6地区研修会	15
お知らせ3 ホームページ研修会申し込みフォーム利用時のお願い	16
連載 誌上講座 第8回臨床検査「臨床科学検査の概要」	平木一嘉 17

連載 誌上講座 第6回「Fracture -Cross Search-」...	荒殿太郎、高橋克行 21
平成26年度診療放射線技師のための「フレッシュアーズセミナー」アンケート結果...	25
こえ	
・第12回ペイシエントケア学術大会に参加して	小牧由佳 27
・第12回ペイシエントケア学術大会に参加して	中野詩帆 28
・第35回の日暮里塾ワンコインセミナーに参加して ...	山中真悟 29
NEWSひろい読み	30
パイプライン	
・超音波画像研究会 第235回定例会	34
・第9回ワンバイツァー講習会	34
平成26年度第3・4・5回理事会報告	35
平成26年5・6月期会員動向	43
研修会等申込書	47

—Column & Information—	
・イエローケーキ1	29
・求人情報	38
・イエローケーキ2	42
・学術講演会・研修会等の開催予定	45

10月号 Vol.61 No.721

診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 持続可能性	会長 篠原健一 5
会告1 第37回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6
会告2 地球環境保全活動	第5地区 7
会告3 第53回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 8
会告4 第38回日暮里塾ワンコインセミナー	9
会告5 平成26年度第3回静脈注射（針刺しは除く）講習会	10
会告6 第17回メディカルマネジメント研修会	11
会告7 第13地区研修会（第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）第13地区・学術教育委員会	12
会告8 城南支部研修会	城南支部委員会 13
会告9 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」	14
会告10 第40回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 15
予告 第41回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 16
公益社団法人日本放射線技師会の勤続30年及び50年表彰について渉外委員会	17
お知らせ1 第16地区研修会（TART・SART地区合同勉強会）	18
お知らせ2 第1地区研修会	19
お知らせ3 第6地区研修会	20
お知らせ4 第3地区研修会	21
お知らせ5 第4地区研修会	22
平成25年度新人奨励賞 受賞報告	龍尾香朱美 23
連載 誌上講座 第9回臨床検査「臨床検査技師と公衆衛生」	罇 正弘 28
こえ	
・第34回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	曾根辰徳 32
・クリーン日暮里21（日暮里清掃活動）印象記	富丸佳一 33
NEWSひろい読み	34

パイプライン	
・超音波画像研究会 第235回定例会	37
・第9回ワンバイツァー講習会	37
・平成26年度胃X線検査従事者講演会	38
・平成26年度第1回乳がん検診従事者講演会	40
・平成26年度第2回乳がん検診従事者講演会	42
・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第7回セミナーin福島	44

研修会等申込書	47
Column & Information	
・東放技は積極的に参加します	27
・求人情報	31
・イエローケーキ	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	45

11月号 Vol.61 No.722

巻頭言 診療放射線技師法の改正	副会長 葛西一隆 4
会告1 第38回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5
会告2 第17回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会 6
会告3 第13地区研修会 (第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 第13地区・学術教育委員会	7
会告4 城南支部研修会	城南支部委員会 8
会告5 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」	9
会告6 第40回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 10
会告7 第41回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 11
お知らせ1 第1地区研修会	第1地区 12
お知らせ2 第3地区研修会	第3地区 13
お知らせ3 第4地区研修会	第4地区 14
お知らせ4 地球環境保全活動 クリーン日暮里21 (日暮里駅前清掃活動) 第5地区	15
第65回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会 (抄)	16
平成25年度特別功労賞・功労賞 (勤続20年表彰)・小野賞受賞者	26
平成25年度新人奨励賞 受賞報告	熊谷果南 27
こえ	
・城東支部研修会に参加して	桐原 駿 31
・サマーセミナー印象記	鎌田 拓 32
・第13回城北支部研修会印象記	岡部博之 33
・第13回城北支部研修会に参加して	稲毛秀一 34
第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告	代議員 葛西一隆 35
第75回公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総会報告	代議員 葛西一隆 36
NEWSひろい読み	37
パイプライン	
・第9回ワンバイツ講習会	39
・平成26年度第1回乳がん検診従事者講演会	40
・平成26年度第2回乳がん検診従事者講演会	42
・平成26年度マンモグラフィ研修会 (読影入門編)	44
・日本消化器画像診断情報研究会 (日消研) 第7回セミナーin福島	46
・第37回消化器造影技術研修会	47
平成26年度第6回理事会報告	48
平成26年7・8月期会員動向	53

Column & Information	
・東放技は積極的に参加します	30
・求人情報	38
・イエローケーキ	52
・学術講演会・研修会等の開催予定	55

12月号 Vol.61 No.723

診療放射線技師のための接遇規範	4
巻頭言 言と事	会長 篠原健一 5
会告1 新春のつどい	6
会告2 第40回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告3 第41回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 8
会告4 第13回ウインターセミナー	学術教育委員会 9
会告5 第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 10
会告6 平成26年度第4回静脈注射 (針刺しは除く) 講習会	11
会告7 第7回MRI集中講習会	学術教育委員会 12
会告8 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」	13
お知らせ1 第4地区研修会	14
お知らせ2 地球環境保全活動 クリーン日暮里21 (日暮里駅前清掃活動) 第5地区	15
お知らせ3 第12地区研修会	第12地区 16
お知らせ4 第1地区研修会	第1地区 17
お知らせ5 第15地区研修会	第15地区 18
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	19
東京都功労者表彰	渉外委員会 20
平成25年度学術奨励賞	22
連載 誌上講座 第10回臨床検査「免疫血清検査の概要」	早川瑞穂 26
研修会報告 第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会) 座長集約	31
こえ	
・第36回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	加藤仁規 38
・第37回日暮里塾ワンコインセミナー印象記	圓城寺純至 39
パイプライン	
・平成26年度第2回乳がん検診従事者講演会	40
・平成26年度マンモグラフィ研修会 (読影入門編)	42
・平成26年度マンモグラフィ研修会 (ポジショニング入門)	44
・第37回消化器造影技術研修会	46
平成26年度第7回理事会報告	47
平成26・27年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員名簿	52
平成26年9月期会員動向	55
平成26年東京放射線総目次	57
登録事項変更届	62
研修会等申込書	63

Column & Information	
・イエローケーキ	37
・求人情報	55
・学術講演会・研修会等の開催予定	56

登録事項変更届

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人 日本診療放射線技師会 殿

会員番号	
氏 名	印
氏名(フリガナ)	
性 別	男性 ・ 女性
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日 生

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓 (変更後の氏名)	
-------------	--

□送付先変更

現在の送付先	(勤務先 ・ 自宅)
新送付先	(勤務先 ・ 自宅)

□住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 ー
	電 話	
旧自宅住所		

□その他

通信欄	
-----	--

受 付
確 認

平成 年 月 日
平成 年 月 日 印

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備考			

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

「将来、何になるの？」私が学生や若手の技師によくする質問です。二十歳も越えた人たちに「将来…」というのは、いささかおかしいのですが、知りたいのは要するに、将来あなたはどんな技師に（あるいはそれ以外に）なるのか、です。「なりたい」ではなく「なる」「夢」というよりも、もう少し明確な「目標」に近いかもしれません。

彼らの答えは実にさまざまで、認定を取りたい、できる技師になりたい、進学したい、といった技師業務に付随したものやステップアップを考えている子もいれば、もっと大きな病院に移りたい、会社を興したい、行く行くは趣味のほうを本業にしたい、など衝撃の告白をしてくれる子もいます。目標を見失わなければ、必ず実現するはず。決断を下し、一歩を踏み出すには大きな勇気が必要ですが、強い思いがあるのならチャンスが来たら迷わず挑戦してほしいと思います。後悔のない人生にしようよ。ただし、準備はしっかりね、と老婆心も添えて。

私の目標は「いっばしの技師にな

る」。それなりの長い時間を診療放射線技師として過ごした今の自分は、技師になりたての頃に描いていた理想像とは少し違いますが、いい意味で自分を裏切り続けています。ずっと変わらず技師業務が好きで、仕事を楽しんでいる。今はその楽しさを若い世代に伝える場所にいますが、先輩世代から受け継いだものを、少しでも発展させて次の世代へお渡しできれば良いかな、と思います。

今年も残すところ、あと二十数日となりました。来年も皆さんにとって希望に満ちた素晴らしい年になりますように…
<chai姉>



■ 広告掲載社

(株)グリーンメディカル
コニカミノルタヘルスケア(株)
シーメンス・ジャパン(株)
GEヘルスケア・ジャパン
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第61巻 第11号

平成26年11月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成26年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行